

# 1万人女性意識調査

## 第1回「家族・夫婦 昔と今」詳細版

2020年8月

# 目次

## 調査概要

### 回答者プロフィール

1-1. 【総論】現在の家族・夫婦の姿／性別役割分担意識への共感度	1ページ
1-2. 【総論】理想の夫婦の役割分担／現実の夫婦の役割分担	2ページ
1-3. 【総論】理想の家計管理の方法／現実の家計管理の方法	3ページ
1-4. 【総論】夫婦同姓（夫婦同氏）への賛否／夫婦同姓（夫婦同氏）への実際の対応	4ページ
1-5. 【総論】家庭内の事項の決定権【育児】	5ページ
2-1. 現在の家族・夫婦の姿	6ページ
2-2. 現在の家族・夫婦の姿（昔と変わった点）	7ページ
2-3. 現在の家族・夫婦の姿（変化の要因）	8ページ
2-4. 現在の家族・夫婦の姿（昔と変わっていない点）	9ページ
2-5. 現在の家族・夫婦の姿（「その他」の自由回答）	10ページ
3-1. 性別役割分担意識への共感度	11ページ
3-2. 性別役割分担意識に共感する理由	12ページ
3-3. 性別役割分担意識に共感しない理由	13ページ
3-4. 性別役割分担意識に共感する/共感しない理由（「その他」の自由回答）	14ページ
3-5. 理想の夫婦の役割分担	15ページ
3-6. 現実の夫婦の役割分担	16ページ
3-7. 家庭内の事項の決定権	17ページ

## 目次（続き）

4-1. 理想の家計管理の方法	18ページ
4-2. 現実の家計管理の方法	19ページ
5-1. 夫婦同姓（夫婦同氏）への賛否	20ページ
5-2. 夫婦同姓（夫婦同氏）に関する意見	21ページ
5-3. 夫婦同姓（夫婦同氏）に関する意見（「その他」の自由回答）	22ページ
5-4. 夫婦同姓（夫婦同氏）への実際の対応	23ページ
6-1. 未婚率上昇・晩婚化について	24ページ
6-2. 結婚についての考え方（未婚のみ）	27ページ
6-3. 結婚についての考え方（特に自分の考えに近いもの）（未婚のみ）	28ページ
6-4. 結婚についての考え方（「その他」の自由回答）	29ページ
7-1. 【参考】回答者家族構成（同居）	30ページ
7-2. 【参考】回答者家族構成（非同居）	31ページ

# 調査概要

- 調査対象 全国の18～69歳女性
- 調査手法 インターネット調査
- 調査期間 2020年7月17日（金）～2020年7月21日（火）
- 回収数 以下のとおり全国を6エリアに分け、エリア毎に性年代別人口構成比に合わせて割付・回収。

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	合計
北海道・東北	180	200	233	236	291	1140
首都圏	632	675	806	626	731	3470
中部	291	313	382	330	403	1719
近畿	296	302	379	305	373	1655
中国・四国	140	154	184	170	220	868
九州・沖縄	196	214	234	229	275	1148
合計	1735	1858	2218	1896	2293	10000

※エリア内訳

北海道・東北	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県		
首都圏	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	
中部	新潟県	富山県	石川県	福井県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
近畿	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県			
中国・四国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
九州・沖縄	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	

# 回答者プロフィール

## ◎就業状況

	お勤め (正規)	お勤め (非正規)	個人経営の 経営主	自由・ 自営業	主婦	学生	無職	その他
回答者数	3255	2718	78	383	2629	248	598	91
構成比(%)	32.6	27.2	0.8	3.8	26.3	2.5	6.0	0.9

## ◎家族の状況

	未婚・ 子どもなし	未婚・ 子どもあり	既婚・ 子どもなし	既婚・ 子どもあり	離死別・ 子どもなし	離死別・ 子どもあり
回答者数	2698	134	1387	4817	197	767
構成比(%)	27.0	1.3	13.9	48.2	2.0	7.7

## ◎2019年の個人年収(税込)

	100万円未 満	100~200 万円未満	200~300 万円未満	300~400 万円未満	400~500 万円未満	500~600 万円未満	600~700 万円未満	700~800 万円未満	800~900 万円未満	900~ 1,000万円	1,000~ 1,500万円	1,500~ 2,000万円	2,000万円 以上	収入はない	わからない・ 答えたくない
回答者数	2116	1679	1428	1034	614	311	161	108	55	23	55	14	13	1010	1379
構成比(%)	21.2	16.8	14.3	10.3	6.1	3.1	1.6	1.1	0.6	0.2	0.6	0.1	0.1	10.1	13.8

## ◎最終学歴

	中学校	高等学校	短大・高専・ 専門	大学学部	修士・博士前期・ 専門職大学院	博士後期	その他
回答者数	148	2675	3491	3363	225	48	50
構成比(%)	1.5	26.8	34.9	33.6	2.3	0.5	0.5

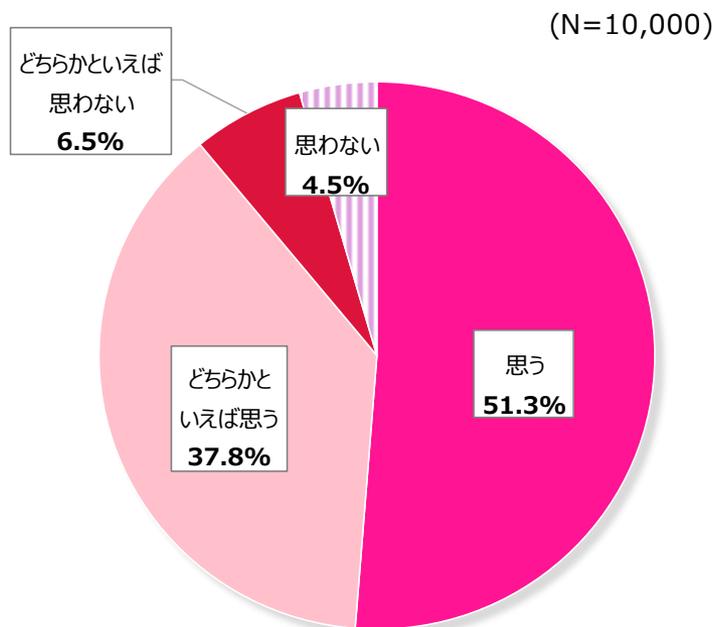
# 1-1.【総論】現在の家族・夫婦の姿／性別役割分担意識への共感度

現在の家族・夫婦の姿が変わったと「思う」人は51%と半数を超える。「どちらかといえば思う」が38%で、合わせて9割弱が変わったと感じている。

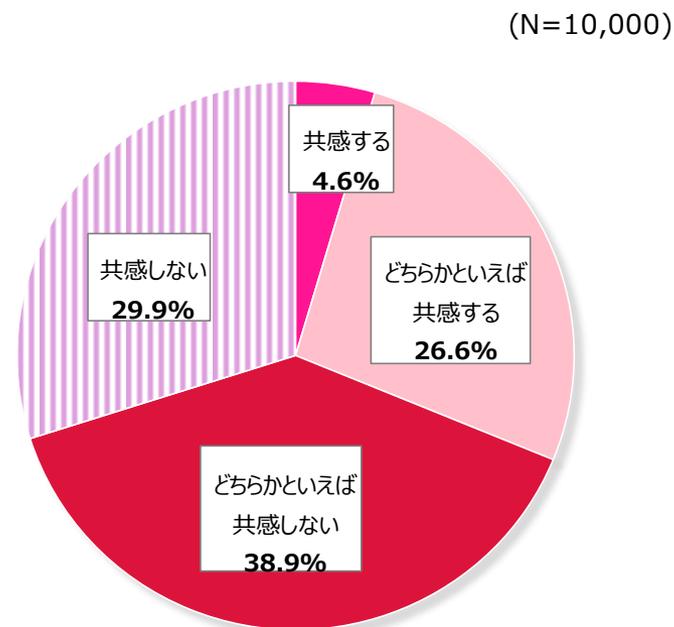
性別役割分担意識については、「共感する」が5%、「どちらかといえば共感する」が27%で、合わせると3割強。一方で「共感しない」が3割を占め、「どちらかといえば共感しない」を合わせると、7割弱にのぼる。

Q1A.ご自身の子どもの頃と比べて、現在の家族・夫婦の姿は変わったと思いますか。  
(ひとつだけ)

Q2A.「夫は外で仕事、妻は家事・育児」という性別役割分担意識に共感しますか。  
(ひとつだけ)



思う計 : 89.1%



共感する計 : 31.2%

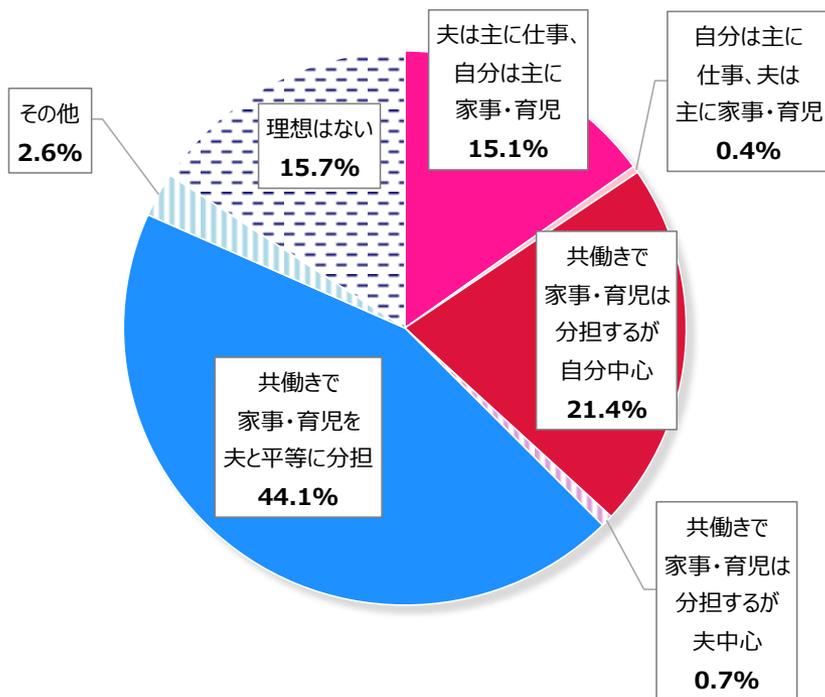
# 1-2.【総論】理想の夫婦の役割分担／現実の夫婦の役割分担

理想の役割分担については、「共働きで家事・育児を夫と平等に分担」が44%で最も多い。以下「共働きで家事・育児は分担するが自分中心」が21.4%、「夫は主に仕事、自分は主に家事・育児」が15.1%と続き、それらの合計で37%。自分が家事・育児を主に担当したいと思う層が一定数存在する。既婚かつ有職者について現実の役割分担をみると、「主として自分」が58%と半数を超え、次いで「分担しているが自分が多い」が28%。理想として最多の「夫と平等に分担」は9%にとどまる。

Q2B.仕事や家事・育児について、夫婦間でどのような役割分担が理想ですか。  
(ひとつだけ)

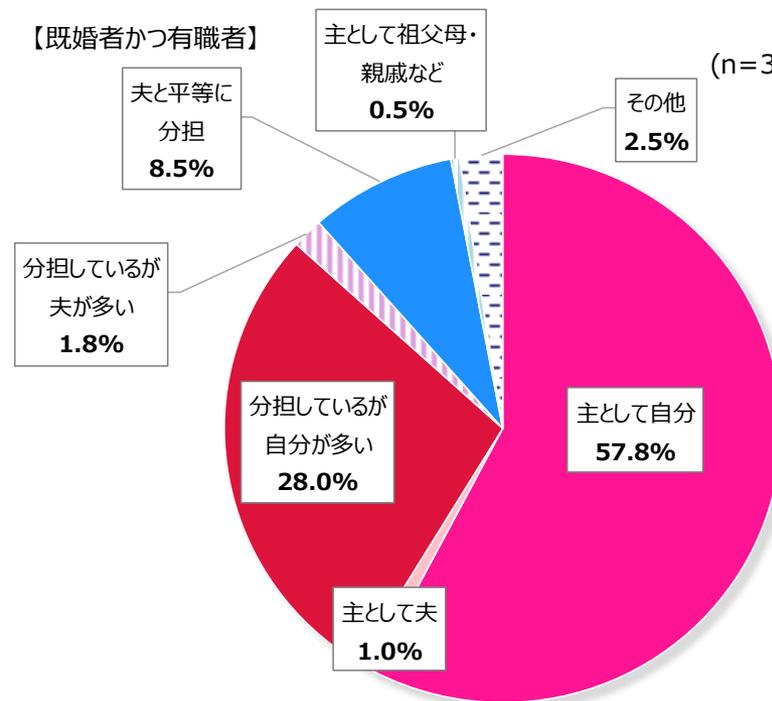
Q3C.既婚者かつお仕事をお持ちの方にうかがいます。あなたのご家庭では、家事や育児は主にどなたが担っていますか。(ひとつだけ)

(N=10,000)



【既婚者かつ有職者】

(n=3,507)

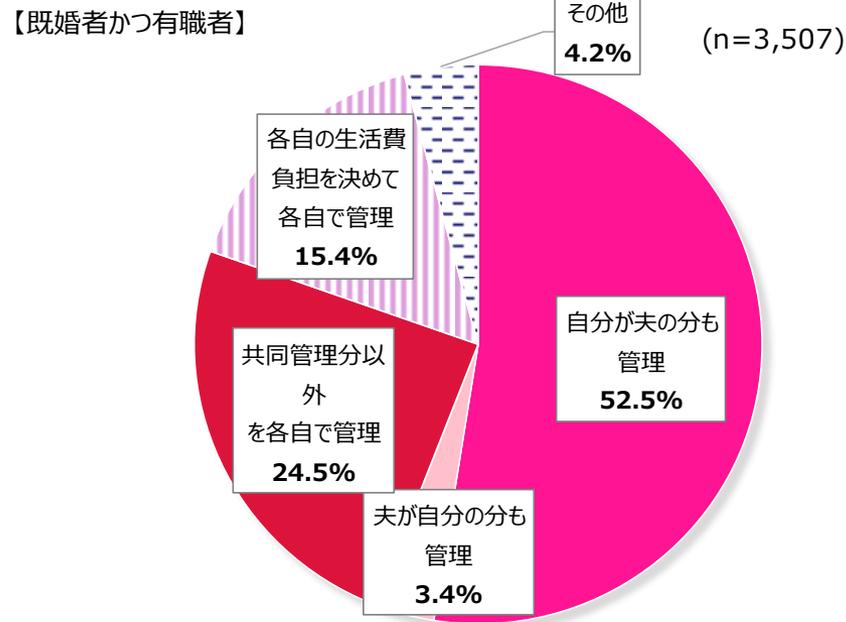
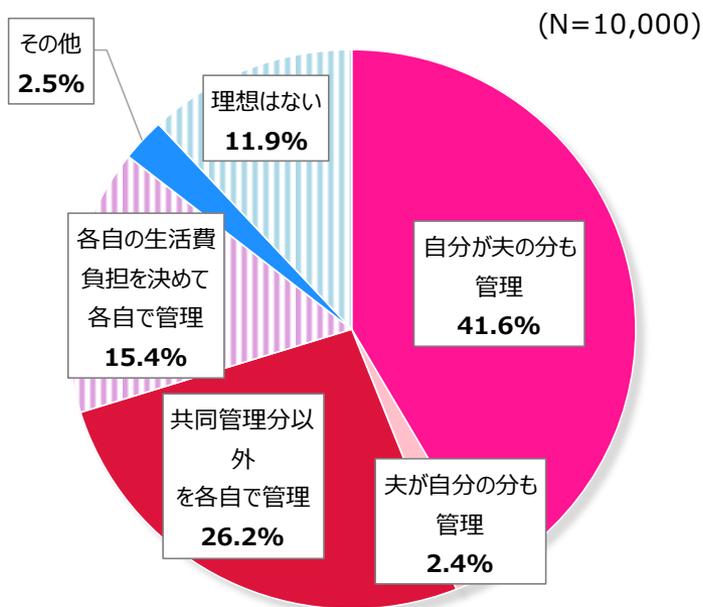


# 1-3.【総論】理想の家計管理の方法／現実の家計管理の方法

理想の家計管理の方法としては、「自分が夫の分も管理」が42%で最も多く、以下「共同管理分以外を各自で管理」(26%)、「各自の生活費負担を決めて各自で管理」(15%)と続く。  
 既婚かつ有職者について現実の家計管理方法をみると、「自分が夫の分も管理」が最も多く、53%と半数を超える。これに「共同管理分以外を各自で管理」「各自の生活費負担を決めて各自で管理」の順で続き、それぞれ理想とほぼ同水準の割合となっている。

Q3A.家計の管理はどのような形が理想ですか。(ひとつだけ)

Q3B.既婚者かつお仕事をお持ちの方にうかがいます。あなたのご家庭では、  
 実際の家計管理はどうしていますか。(ひとつだけ)

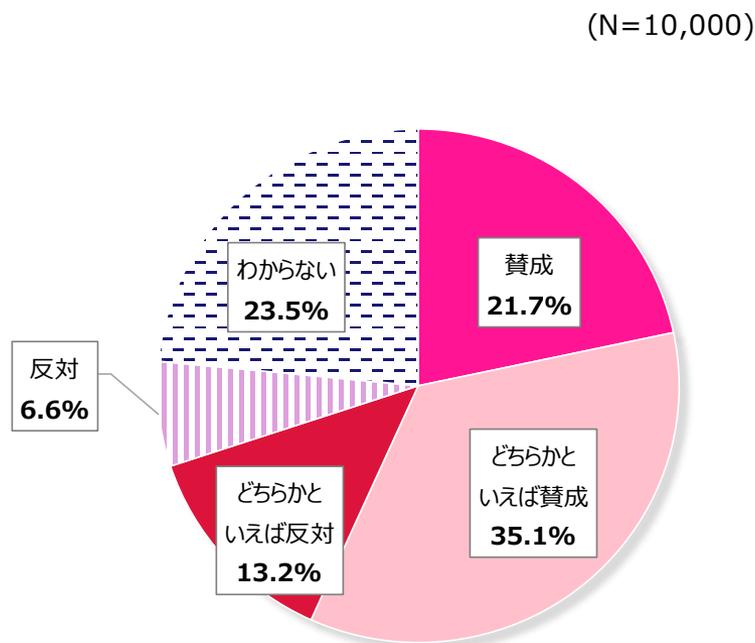


# 1-4.【総論】夫婦同姓（夫婦同氏）への賛否／夫婦同姓（夫婦同氏）への実際の対応

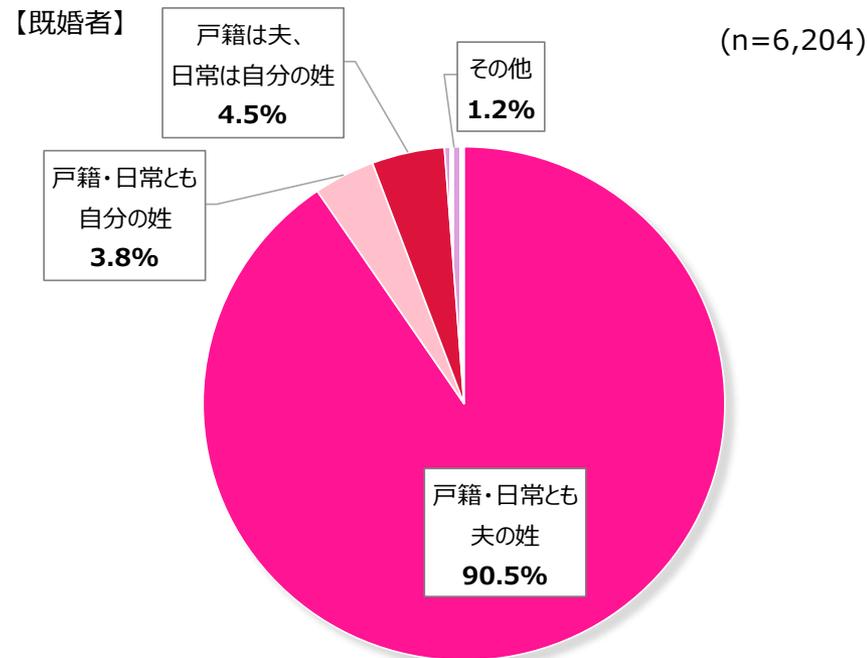
夫婦同姓については、「賛成」が22%、「どちらかといえば賛成」が35%で、これらを合わせた賛成派は57%と半数を超える。「反対」(7%)と「どちらかといえば反対」(13%)を合わせた反対派は2割、態度保留は2割強を占める。既婚者について現実の対応をみると、「戸籍・日常とも夫の姓」が91%にのぼる。「戸籍・日常とも自分の姓」は4%で、合わせて94%が日常も含め夫婦同姓にしている。「戸籍は夫、日常は自分の姓」は5%。

Q4A.民法は、夫婦が同じ氏（姓）を名乗る「夫婦同氏（夫婦同姓）」を定めていますが、これについてどう思いますか。（ひとつだけ）

Q4C.既婚者の方にうかがいます。あなたは「夫婦同氏（夫婦同姓）」について、現実にはどのように対応していますか。（ひとつだけ）



**賛成計 : 56.8%**



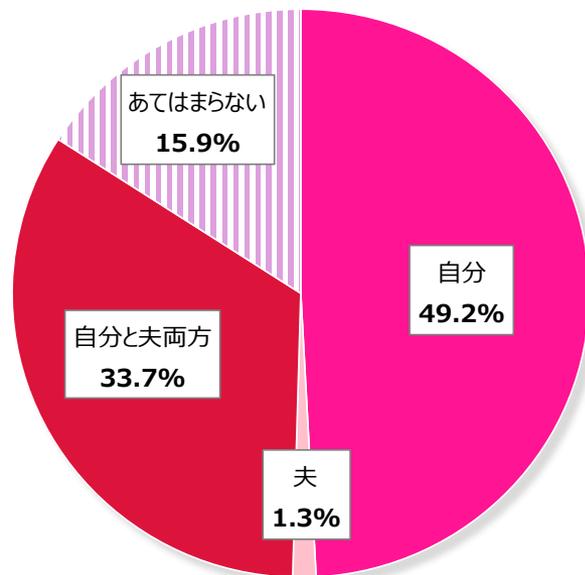
## 1-5. 【総論】家庭内の事項の決定権【育児】

既婚者に育児について聞くと、決定するのは「自分」という回答が49%と半数を占め、「自分と夫両方」が34%となっている。「夫」は1%とわずか。

Q2C.既婚者の方にかがいます。あなたのご家庭では、次の事項について夫婦どちらが中心となって決めますか。未経験の場合は、想像でお答えください。  
また、可能性がない場合は「あてはまらない」とお答えください。（それぞれひとつずつ）

【既婚者】  
【育児】

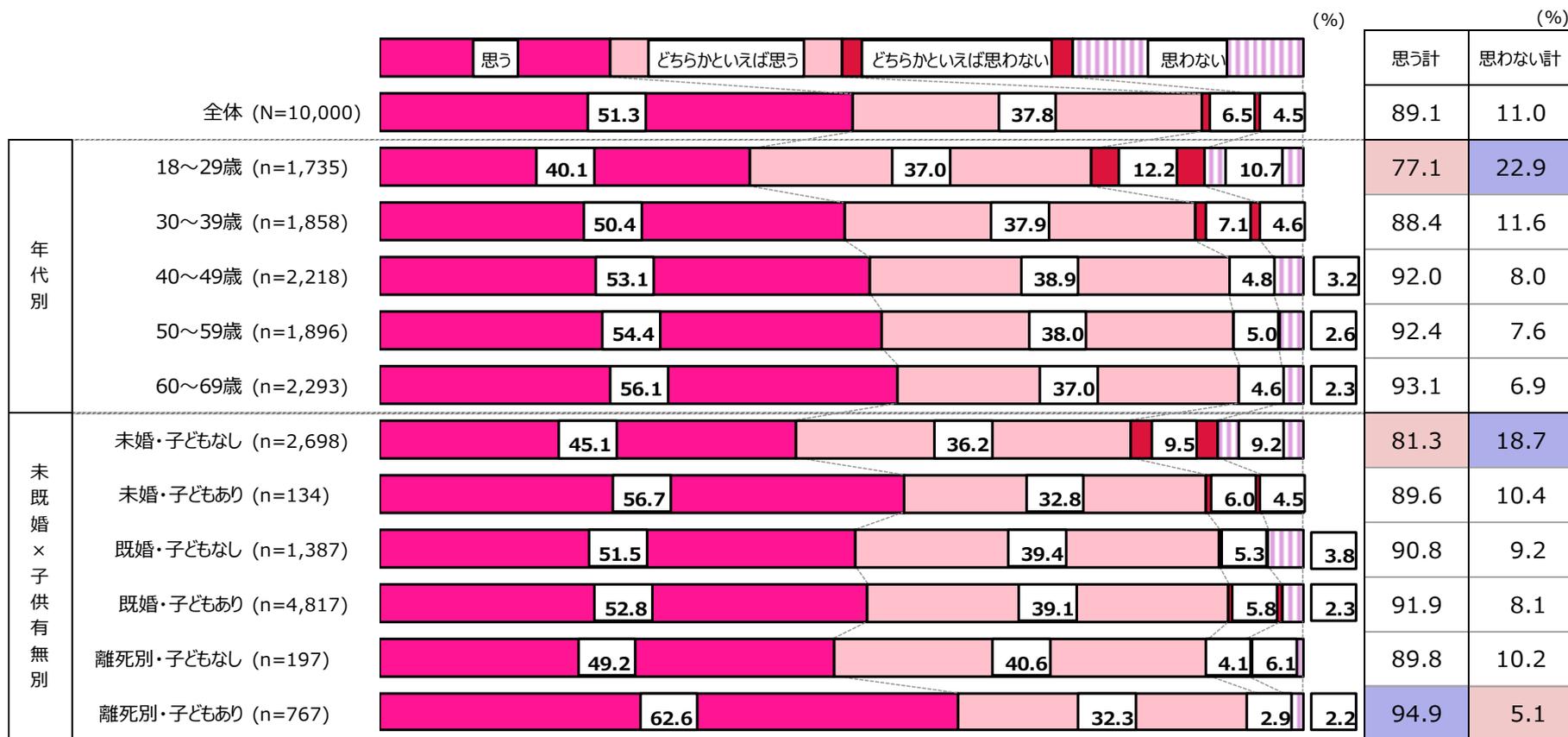
(n=6,204)



## 2-1.現在の家族・夫婦の姿

家族・夫婦の姿が変わったと思うかについて年代別でみると、「思う計」は18～29歳で8割弱と低く、30代以上では9割前後で大きな差はない。未既婚×子ども有無別でみると、「思う計」は未既婚・子どもなし層で低く、離死別・子どもあり層で高い。

Q1A.ご自身の子どもの頃と比べて、現在の家族・夫婦の姿は変わったと思いますか。(ひとつだけ)



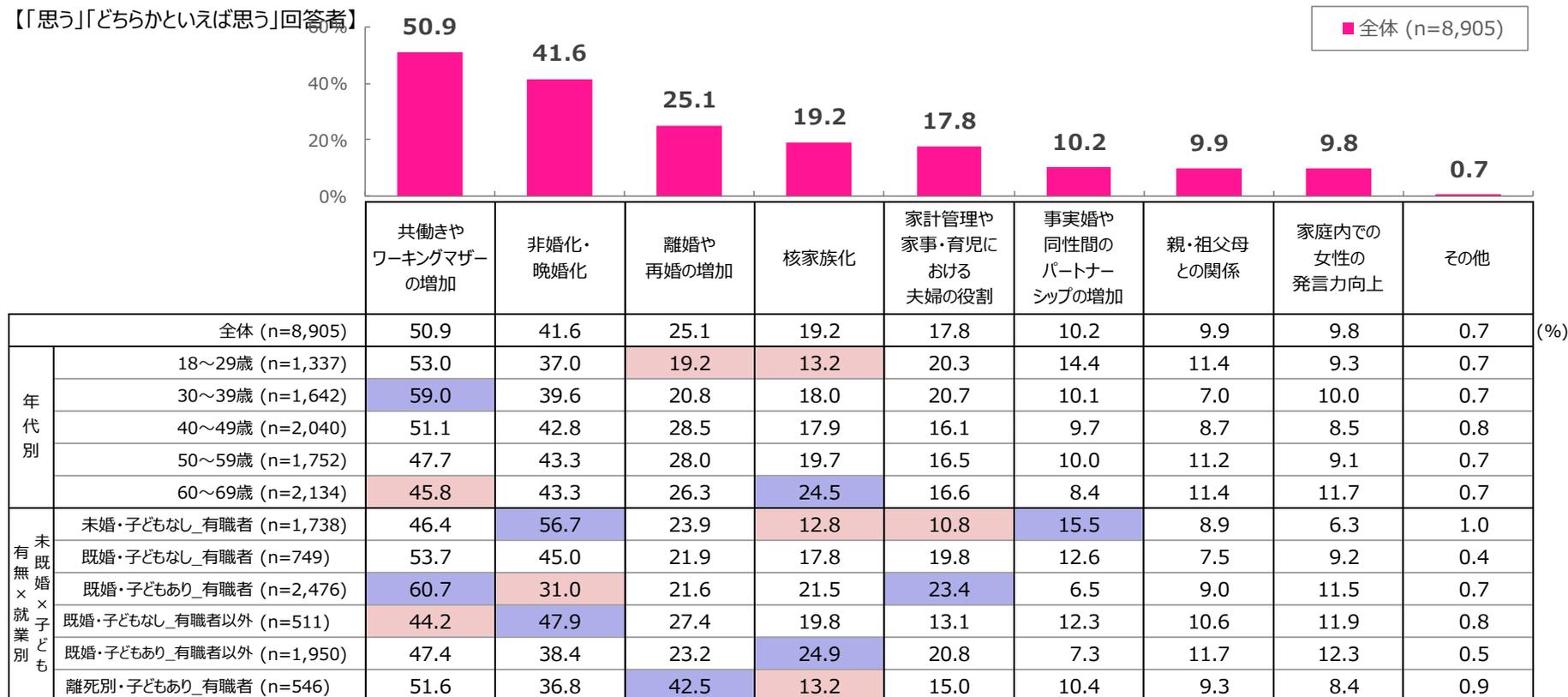
■ : 全体より+5ポイント以上    ■ : 全体より-5ポイント以下

## 2-2.現在の家族・夫婦の姿（昔と変わった点）

家族・夫婦の姿が変わった点としては、「共働きやワーキングマザーの増加」が51%で最も多く、以下「非婚化・晩婚化」(42%)、「離婚や再婚の増加」(25%)と続く。年代別でみると、「共働きやワーキングマザーの増加」の割合は30代で高く、「核家族化」の割合は年代が高いほど高い傾向がみられる。未婚×子どもなし\_有職者層では「非婚化・晩婚化」が5割を超え最多となっている。既婚×子どもあり\_有職者層では「共働きやワーキングマザーの増加」が6割を超え目立って高い。離死別・子どもあり\_有職者層では「離婚や再婚の増加」が4割を超え、他の層より高くなっている。

Q1ASQ1.「現在の家族・夫婦の姿は変わったと思う／どちらかといえば思う」と答えた方にうかがいます。特に変わったと感じている点は何ですか。ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。（2つまで）

【「思う」「どちらかといえば思う」回答者】



■ : 全体より+5ポイント以上    ■ : 全体より-5ポイント以下

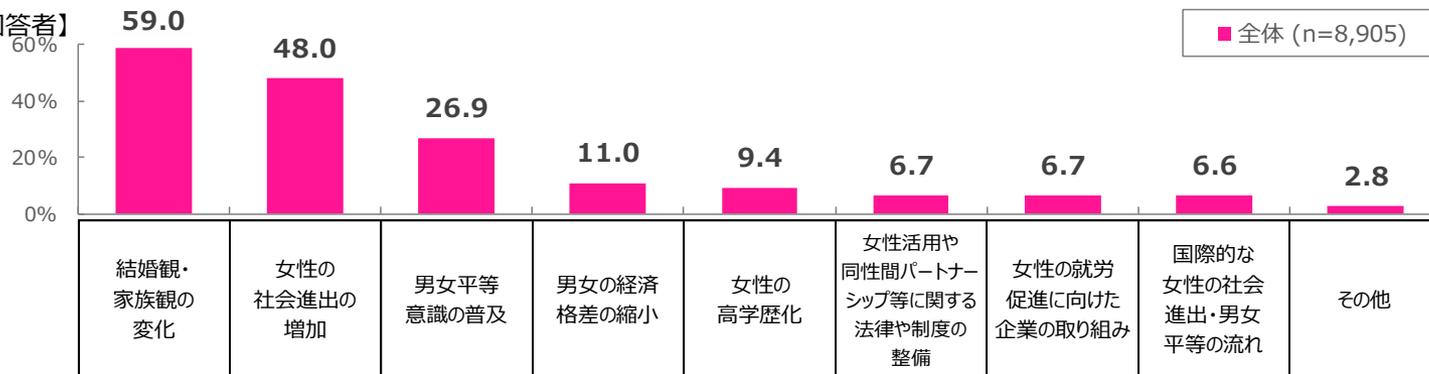
## 2-3.現在の家族・夫婦の姿（変化の要因）

家族・夫婦の姿が変わった要因としては、「結婚観・家族観の変化」が59%で最も多く、以下「女性の社会進出の増加」(48%)、「男女平等意識の普及」(27%)と続く。属性による違いはほとんどみられない。

Q1ASQ2.「現在の家族・夫婦の姿は変わったと思う／どちらかといえば思う」と答えた方にうかがいます。その要因は何だと思いますか。

ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。（2つまで）

【「思う」「どちらかといえば思う」回答者】



		全体 (n=8,905)	59.0	48.0	26.9	11.0	9.4	6.7	6.7	6.6	2.8
年代別	全体 (n=8,905)	59.0	48.0	26.9	11.0	9.4	6.7	6.7	6.6	2.8	
	18~29歳 (n=1,337)	54.9	48.2	26.5	11.4	8.2	8.7	8.4	5.6	2.8	
	30~39歳 (n=1,642)	58.2	49.1	26.7	11.8	7.4	6.7	6.5	6.2	3.1	
	40~49歳 (n=2,040)	60.8	48.1	23.5	10.0	9.1	6.0	6.3	6.6	3.4	
	50~59歳 (n=1,752)	59.6	45.7	28.0	11.2	10.4	7.1	6.2	6.4	3.0	
	60~69歳 (n=2,134)	59.8	48.6	29.8	11.2	11.0	5.7	6.5	7.7	1.9	
有無×就業別	未婚・子どもなし_有職者 (n=1,738)	62.5	45.6	22.1	11.1	7.6	9.3	5.6	6.3	3.3	
	既婚・子どもなし_有職者 (n=749)	61.5	49.9	25.8	12.6	9.5	5.7	5.3	6.7	2.8	
	既婚・子どもあり_有職者 (n=2,476)	54.6	50.4	29.2	11.9	9.3	5.4	8.8	6.1	2.6	
	既婚・子どもなし_有職者以外 (n=511)	60.9	49.5	27.6	11.4	9.2	6.3	4.7	7.6	2.7	
	既婚・子どもあり_有職者以外 (n=1,950)	59.0	48.4	30.8	9.4	10.8	5.4	5.4	6.5	2.3	
	離死別・子どもあり_有職者 (n=546)	60.6	48.2	24.7	12.1	8.4	7.5	8.6	7.3	2.4	

■ : 全体より+5ポイント以上

■ : 全体より-5ポイント以下

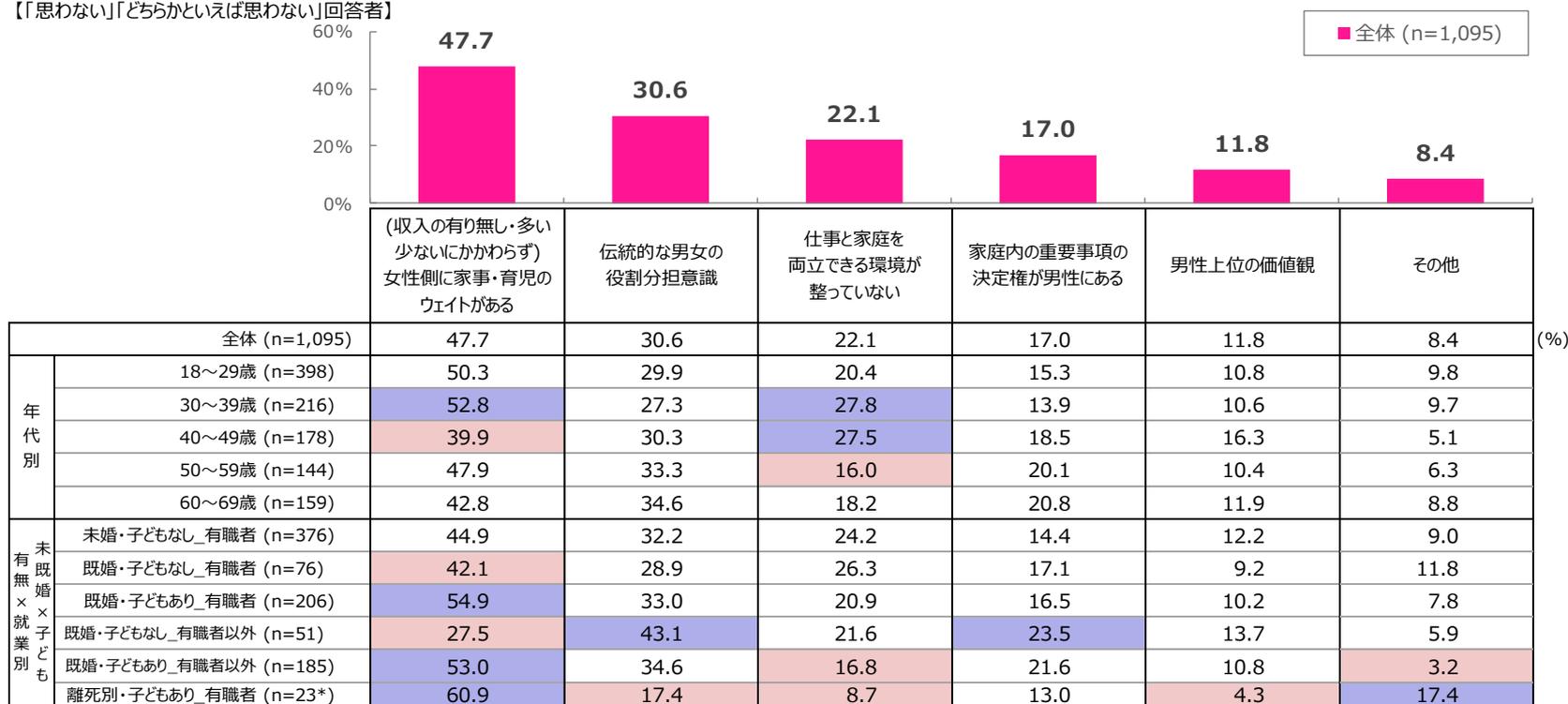
## 2-4.現在の家族・夫婦の姿（昔と変わっていない点）

家族・夫婦の姿が変わっていない点としては、「女性側に家事・育児のウェイトがある」が48%で最も多く、以下「伝統的な男女の役割分担意識」(31%)、「仕事と家庭を両立できる環境が整っていない」(22%)と続く。年代別でみると、30代以下で「女性側に家事・育児のウェイトがある」が5割以上と高め。30~40代では「仕事と家庭を両立できる環境が整っていない」が3割弱と高い。未既婚×子ども有無×就業別でみると、既婚・子どもあり層は就業の有無にかかわらず、「女性側に家事・育児のウェイトがある」が5割を超える。既婚・子どもなし\_有職者以外層では「伝統的な男女の役割分担意識」が4割を超え最多となっている。

Q1ASQ3.「現在の家族・夫婦の姿は変わったと思わない/どちらかといえば思わない」と答えた方にうかがいます。変わっていないのはどのような点ですか。

ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。(2つまで)

【「思わない」「どちらかといえば思わない」回答者】



\*n=30未満は参考値

■ : 全体より+5ポイント以上

■ : 全体より-5ポイント以下

## 2-5. 現在の家族・夫婦の姿（「その他」の自由回答）

自由回答では、変わった点として子どもと友達のような関係の親子が増えたという回答や、子どもを持たない夫婦が増えたという回答があがった。一方で、変わっていない点としては以前から男女の役割分担意識はなかったという回答があがった。また変わった原因としては、経済の悪化から共働きをしないと生活できないという回答が多くあがった。

### 【変わった点】

Q1ASQ1.「現在の家族・夫婦の姿は変わったと思う／どちらかといえば思う」と答えた方にうかがいます。特に変わったと感じている点は何ですか。ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。＜その他：具体的に＞

#### 子どもとのかかわり方

- 親側の、子どもに対する同調、理解、寄り添い方が深い（40代、有職者以外、既婚）
- 昔に比べ子供と親が仲良し、関係が近い（40代、有職者、既婚）
- 親子というより友達みたいな感覚（10-20代、有職者、未婚）

#### 子どもを持たない夫婦が増えた

- 子供を持たない選択をする夫婦の増加（30代、有職者、既婚）

### 【変わった原因】

Q1ASQ2.「現在の家族・夫婦の姿は変わったと思う／どちらかといえば思う」と答えた方にうかがいます。その要因は何だと思えますか。ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。＜その他：具体的に＞

#### 経済の悪化

- 男性(夫)の収入が少ない（30代、有職者、既婚）
- 男性も終身雇用でなく収入も少ない人が増え、結婚できない人や、結婚しても共働きでないと生活できない人が増えた。（60代、有職者以外、既婚）

#### 個人を尊重する意識

- 個の尊重意識の浸透（30代、有職者以外、既婚）
- 自分のためにだけ自分の時間や収入を使いたいと思っている人が増えた。家族を持つ意味がないと思う人が増えた（60代、有職者、既婚）

### 【変わっていない点】

Q1ASQ3.「現在の家族・夫婦の姿は変わったと思わない／どちらかといえば思わない」と答えた方にうかがいます。変わっていないのはどのような点ですか。ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。＜その他：具体的に＞

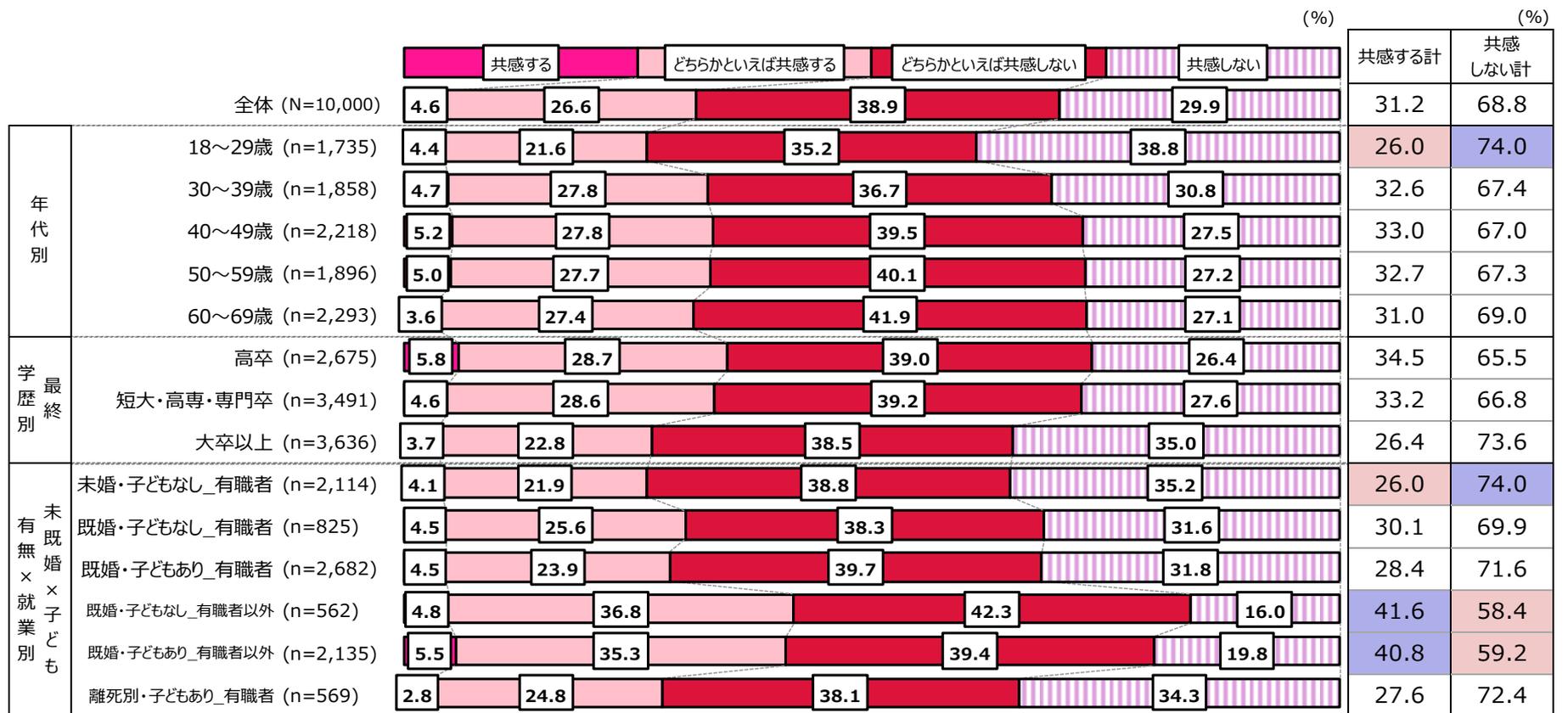
#### 以前から男女の役割分担意識はなかった

- 私の時代から共働き家庭は普通であった。（10-20代、有職者、未婚）
- 夫婦ともに家事育児に取り組んでいる（60代、有職者、離死別）
- 男女のどちらが絶対に～をすべき、どちらかの立場が必ず上、など思ったことがないから。（10-20代、有職者以外、未婚）

### 3-1.性別役割分担意識への共感度

性別役割分担意識への共感度を年代別で見ると、18～29歳では「共感する計」が26%と低く、「共感しない計」が7割を超える。30代以上では大きな差はみられない。  
最終学歴別で見ると、大卒以上層で「共感する計」がやや低い。未既婚×子ども有無×就業別で見ると、「共感する計」は未既婚や子どもの有無にかかわらず、有職者層で低く、有職者以外層で高い。

Q2A.「夫は外で仕事、妻は家事・育児」という性別役割分担意識に共感しますか。(ひとつだけ)



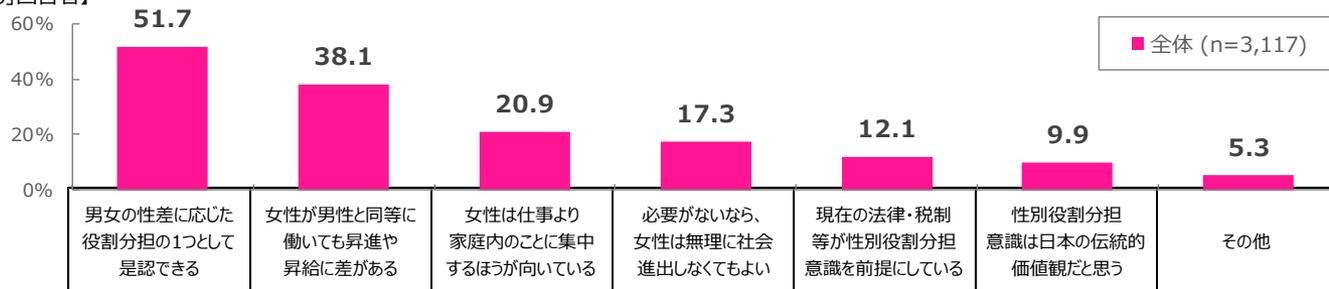
■ : 全体より+5ポイント以上    ■ : 全体より-5ポイント以下

## 3-2. 性別役割分担意識に共感する理由

性別役割分担意識に共感する理由としては、「男女の性差に応じた役割分担の1つとして是認できる」が52%で最も多く、以下「女性が男性と同等に働いても昇進や昇給に差がある」(38%)、「女性は仕事より家庭内のことに集中するほうが向いている」(21%)と続く。

年代別で見ると、年代が高いほど「男女の性差に応じた役割分担の1つとして是認できる」の割合が高く、年代が低いほど「女性が男性と同等に働いても昇進や昇給に差がある」の割合が高い。未既婚×子ども有無×就業別で見ると、離死別・子どもあり\_有職者層では「女性が男性と同等に働いても昇進や昇給に差がある」が5割を超え、最多となっている。

Q2ASQ1.「性別役割分担意識に共感する／どちらかといえば共感する」と答えた方にうかがいます。その理由として、ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。(2つまで)【「共感する」「どちらかといえば共感する」回答者】



		全体 (n=3,117)	51.7	38.1	20.9	17.3	12.1	9.9	5.3	(%)
			男女の性差に応じた役割分担の1つとして是認できる	女性が男性と同等に働いても昇進や昇給に差がある	女性は仕事より家庭内のことに集中するほうが向いている	必要がないなら、女性は無理に社会進出しなくてもよい	現在の法律・税制等が性別役割分担意識を前提している	性別役割分担意識は日本の伝統的価値観だと思う	その他	
年代別	全体 (n=3,117)	51.7	38.1	20.9	17.3	12.1	9.9	5.3		
	18~29歳 (n=451)	45.0	43.2	22.6	20.0	8.6	8.4	5.3		
	30~39歳 (n=605)	46.8	40.5	23.8	19.7	13.9	8.9	4.6		
	40~49歳 (n=731)	50.5	38.4	19.8	18.5	9.6	10.4	5.7		
	50~59歳 (n=620)	52.9	36.9	21.0	14.5	11.8	12.3	6.5		
60~69歳 (n=710)	60.4	33.5	18.5	14.8	15.5	9.3	4.4			
学歴別	高卒 (n=924)	47.2	41.6	24.6	19.8	11.4	10.2	3.7		
	短大・高専・専門卒 (n=1,159)	53.7	36.7	19.9	15.5	12.0	10.2	6.3		
	大卒以上 (n=961)	55.4	36.7	17.5	16.4	12.6	9.4	5.4		
有無×就業別	未婚・子どもなし_有職者 (n=549)	50.1	40.6	17.9	18.0	10.4	8.9	4.6		
	既婚・子どもなし_有職者 (n=248)	53.2	35.1	24.6	13.3	15.3	8.9	3.6		
	既婚・子どもあり_有職者 (n=763)	54.4	36.6	18.7	14.7	12.3	12.2	6.6		
	既婚・子どもなし_有職者以外 (n=234)	50.4	40.2	23.1	18.8	11.5	9.0	3.4		
	既婚・子どもあり_有職者以外 (n=871)	52.5	33.8	23.1	19.9	12.5	8.3	6.1		
	離死別・子どもあり_有職者 (n=157)	49.7	54.1	17.2	17.8	8.3	12.7	5.7		

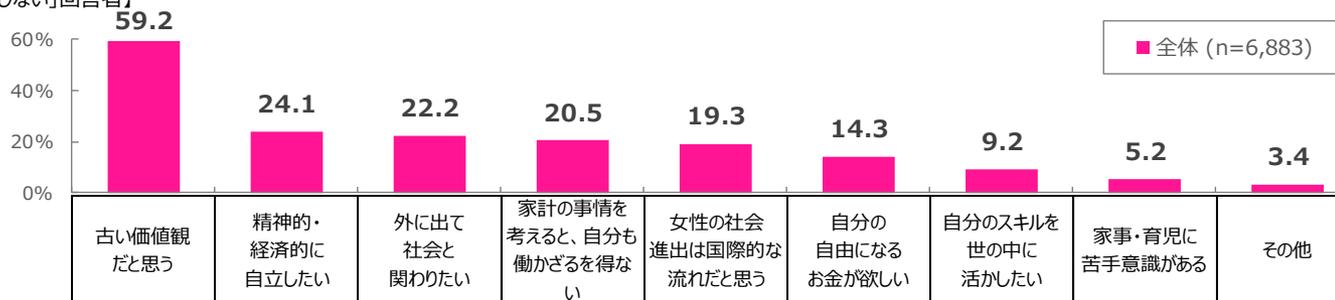
■ : 全体より+5ポイント以上    ■ : 全体より-5ポイント以下

### 3-3. 性別役割分担意識に共感しない理由

性別役割分担意識に共感しない理由としては、「古い価値観だと思う」が59%で最も多く、次いで「精神的・経済的に自立したい」「外に出て社会と関わりたい」などが2割強。

年代別でみると、年代が低いほど「古い価値観だと思う」の割合が高く、18～29歳では7割を超える。一方、「精神的・経済的に自立したい」の割合は年代が高いほど高い。最終学歴別でみると、高卒層では「家計の事情を考えると、自分も働かざるを得ない」が2番目に多くなっている。未婚×子ども有無×就業別でみると、未婚・子どもなし\_有職者層では「古い価値観だと思う」の割合が高い。離死別・子どもあり\_有職者層では「精神的・経済的に自立したい」の割合が高い。

Q2ASQ2.「性別役割分担意識に共感しない／どちらかといえば共感しない」と答えた方にうかがいます。その理由として、ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。（2つまで）  
 【「共感しない」「どちらかといえば共感しない」回答者】



		古い価値観 だと思う	精神的・ 経済的に 自立したい	外に出て 社会と 関わりたい	家計の事情を 考えると、自分も 働かざるを得な い	女性の社会 進出は国際的な 流れだと思う	自分の 自由になる お金が欲しい	自分のスキルを 世の中に 活かしたい	家事・育児に 苦手意識がある	その他	(%)
全体 (n=6,883)		59.2	24.1	22.2	20.5	19.3	14.3	9.2	5.2	3.4	
年代別	18～29歳 (n=1,284)	72.1	16.6	19.5	19.5	16.7	17.0	6.7	6.7	2.2	
	30～39歳 (n=1,253)	63.6	19.4	24.4	23.9	13.6	16.6	7.1	5.9	3.9	
	40～49歳 (n=1,487)	56.7	24.5	20.7	22.9	15.9	16.9	7.6	5.8	3.8	
	50～59歳 (n=1,276)	56.7	26.3	22.3	20.4	20.5	11.8	8.2	4.9	4.5	
	60～69歳 (n=1,583)	49.5	31.7	23.8	16.3	28.0	9.7	15.2	3.0	2.6	
学歴別	高卒 (n=1,751)	59.6	19.6	20.4	26.2	17.9	16.6	5.9	6.0	3.0	
	短大・高専・専門卒 (n=2,332)	59.8	21.6	22.6	22.0	19.5	14.4	9.8	5.0	2.6	
	大卒以上 (n=2,675)	58.5	29.8	23.3	15.0	20.1	12.6	10.9	4.6	4.2	
未婚×子ども有無×就業別	未婚・子どもなし_有職者 (n=1,565)	66.1	22.7	19.3	15.6	17.3	18.5	6.1	5.9	3.5	
	既婚・子どもなし_有職者 (n=577)	58.4	22.0	22.9	23.6	15.3	16.1	8.0	6.8	3.6	
	既婚・子どもあり_有職者 (n=1,919)	54.2	23.3	27.0	28.3	16.5	13.7	10.5	4.3	3.1	
	既婚・子どもなし_有職者以外 (n=328)	63.4	24.1	16.5	11.3	24.7	12.5	8.5	7.3	4.3	
	既婚・子どもあり_有職者以外 (n=1,264)	56.5	23.7	21.8	17.2	26.2	11.4	11.7	4.4	2.6	
	離死別・子どもあり_有職者 (n=412)	55.8	31.3	22.3	24.8	16.7	13.1	10.7	3.9	2.7	

■ : 全体より+5ポイント以上    ■ : 全体より-5ポイント以下

### 3-4. 性別役割分担意識に共感する/共感しない理由（「その他」の自由回答）

性別役割分担意識に共感すると回答した理由では、現行の制度・状況下では役割分担をした方が効率的という意見が多くあった。女性が出世しにくく、共働きをしても家事のウェイトは女性にあるのであれば、女性は家事育児に集中したほうが良いという意見だ。

共感しない理由としては性別にかかわらずできる人・やりたい人がやるのが良いという意見が多かった。

#### 【共感する理由】

Q2ASQ1.「性別役割分担意識に共感する／どちらかといえば共感する」と答えた方にうかがいます。その理由として、ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。〈その他：具体的に〉

#### 現行の制度や状況なら役割分担したほうがよい

- 女性が働いても、男性が家事育児しない。女性だけが仕事家事育児（10-20代、有職者、離死別）
- 一家を支えられる収入は女性だと死に物狂いに頑張らないといけないし、家もしっかり整えることも仕事同様に大事だと思っているので。（50代、有職者、既婚）
- 稼げる側が稼げば良いと思うが、同じ仕事でもやはり男の方が出世しやすく給料高いから必然的にそうなる（40代、有職者以外、既婚）
- 女性が男性と同等に働いても結局家事は女性の方が負担が大きい。男性側の意識がどこまで行っても「手伝い」から抜け出さない。（40代、有職者、既婚）

#### 子どものため

- 子供が小さいうちは親が家にいる方が良いと思うから。（30代、有職者以外、既婚）
- 仕事は男女どちらでもできるが、出産や育児は女にしかできないことがあるので、その間は女性が家にいた方が、無理に分担するよりも効率がいい。有能な女性はじっくり育児をしてからでも仕事復帰できる。（40代、有職者、既婚）

#### 【共感しない理由】

Q2ASQ2.「性別役割分担意識に共感しない／どちらかといえば共感しない」と答えた方にうかがいます。その理由として、ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。〈その他：具体的に〉

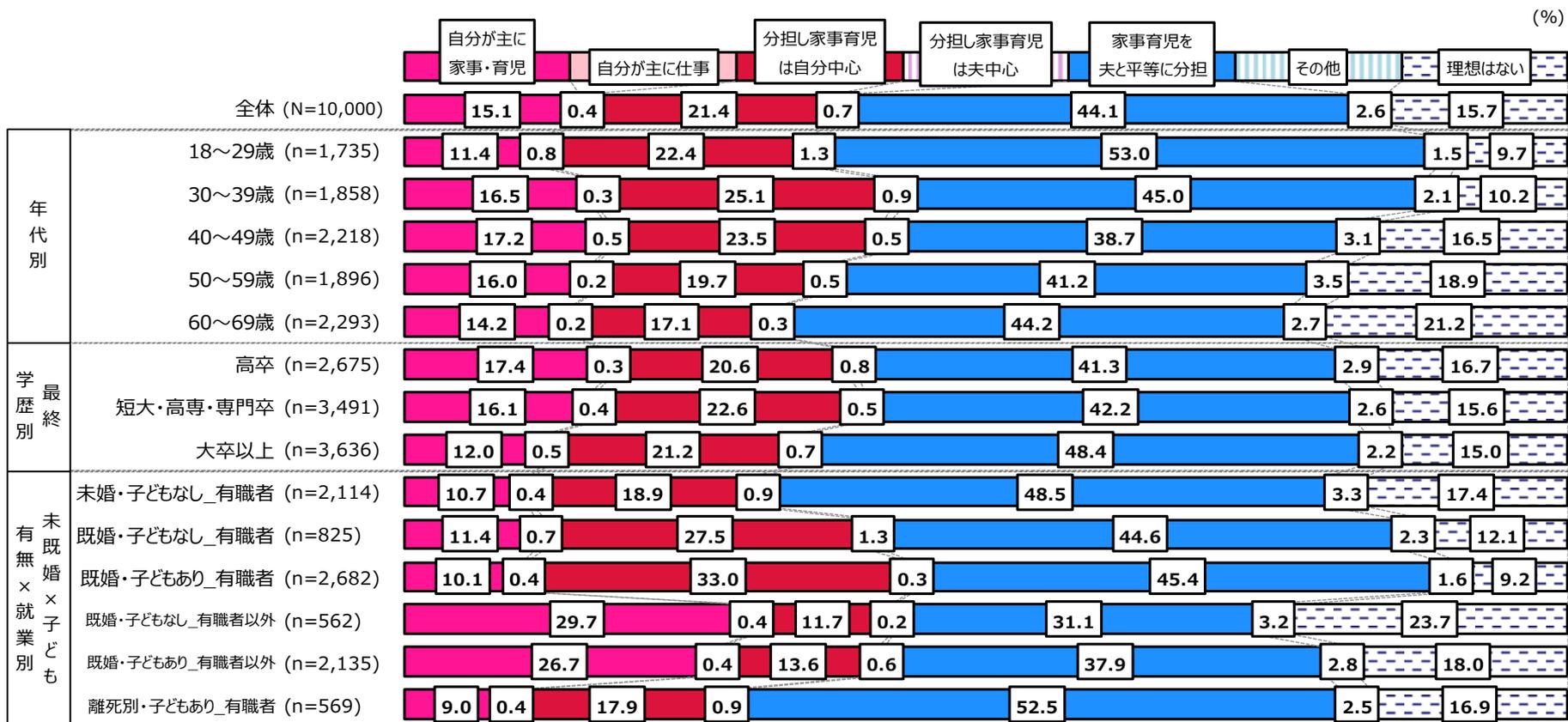
#### 性別は関係ない

- 外で働きたいと思う女性もいれば、家庭内で家事をしたいと思う男性もいると思う。他人の価値観を強制するのは時代遅れ。（50代、有職者、未婚）
- 男性と同じだけ教育を受けているのに働けない意味がわからない（10-20代、有職者以外、未婚）
- 仕事や家事や育児など、出来ることを出来る人がやれば良いと思う（40代、有職者以外、既婚）

# 3-5.理想の夫婦の役割分担

理想の夫婦の役割分担を年代別で見ると、「家事・育児を夫と平等に分担」の割合は18~29歳で最も高く、5割を超える。最終学歴別で見ると、大卒以上層で「家事・育児を夫と平等に分担」の割合が高い。未既婚×子ども有無×就業別で見ると、離死別\_子どもあり\_有職者層では「家事・育児を夫と平等に分担」が5割を超える。既婚\_有職者以外層は子どもの有無にかかわらず、他の層より「自分が主に家事・育児」の割合が高い。

Q2B.仕事や家事・育児について、夫婦間でどのような役割分担が理想ですか。(ひとつだけ)

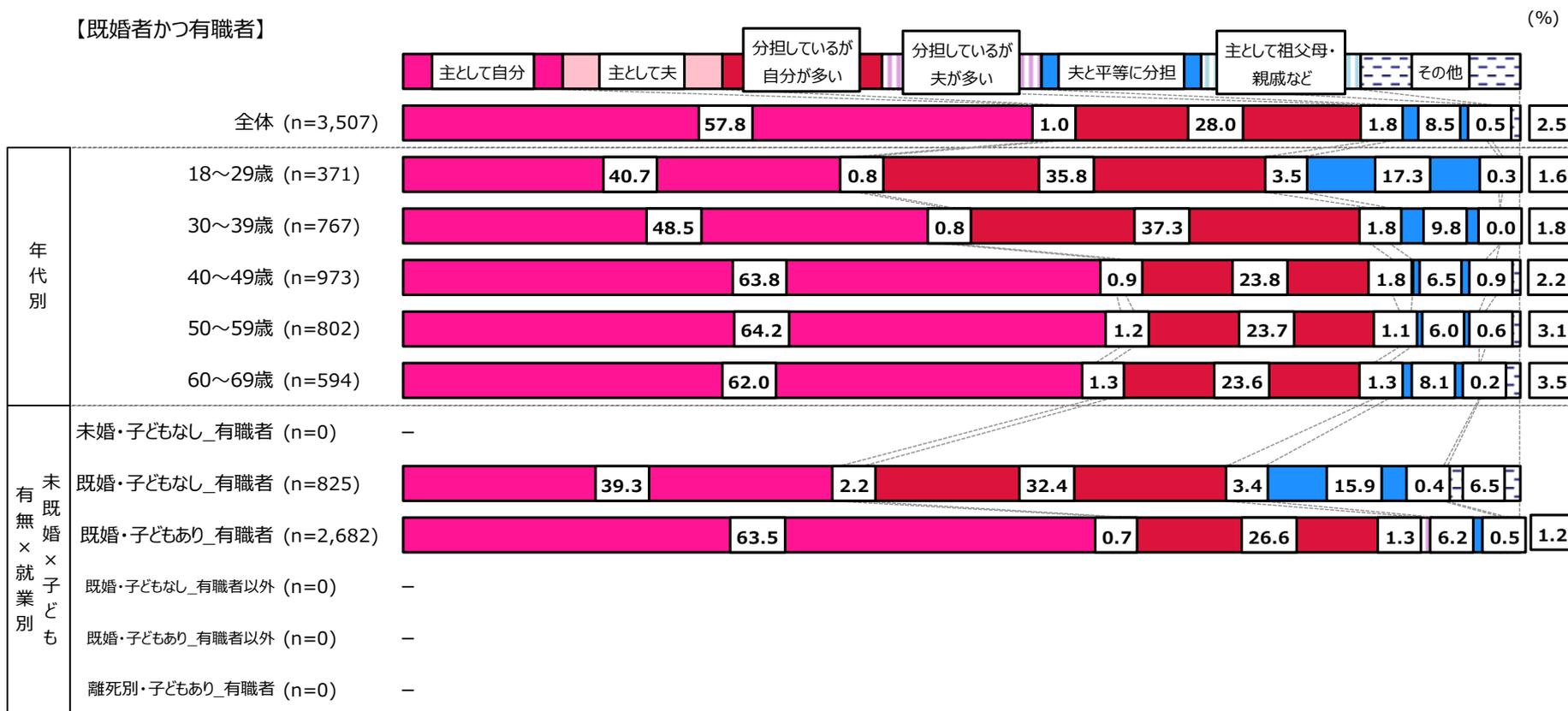


### 3-6.現実の夫婦の役割分担

既婚かつ有職者について現実の夫婦の役割分担を年代別で見ると、40代以上では「主として自分」が6割を超える。30代以下では「主として自分」が5割未満で、「分担しているが自分が多い」が3割を超える。既婚\_有職者を子ども有無別で見ると、子どもあり層では「主として自分」が6割を超えるが、子どもなし層では「主として自分」が4割弱、「分担しているが自分が多い」が3割強となっている。

Q3C.既婚者かつお仕事をもちの方にはうかがいます。あなたのご家庭では、家事や育児は主にどなたが担っていますか。(ひとつだけ)

【既婚者かつ有職者】



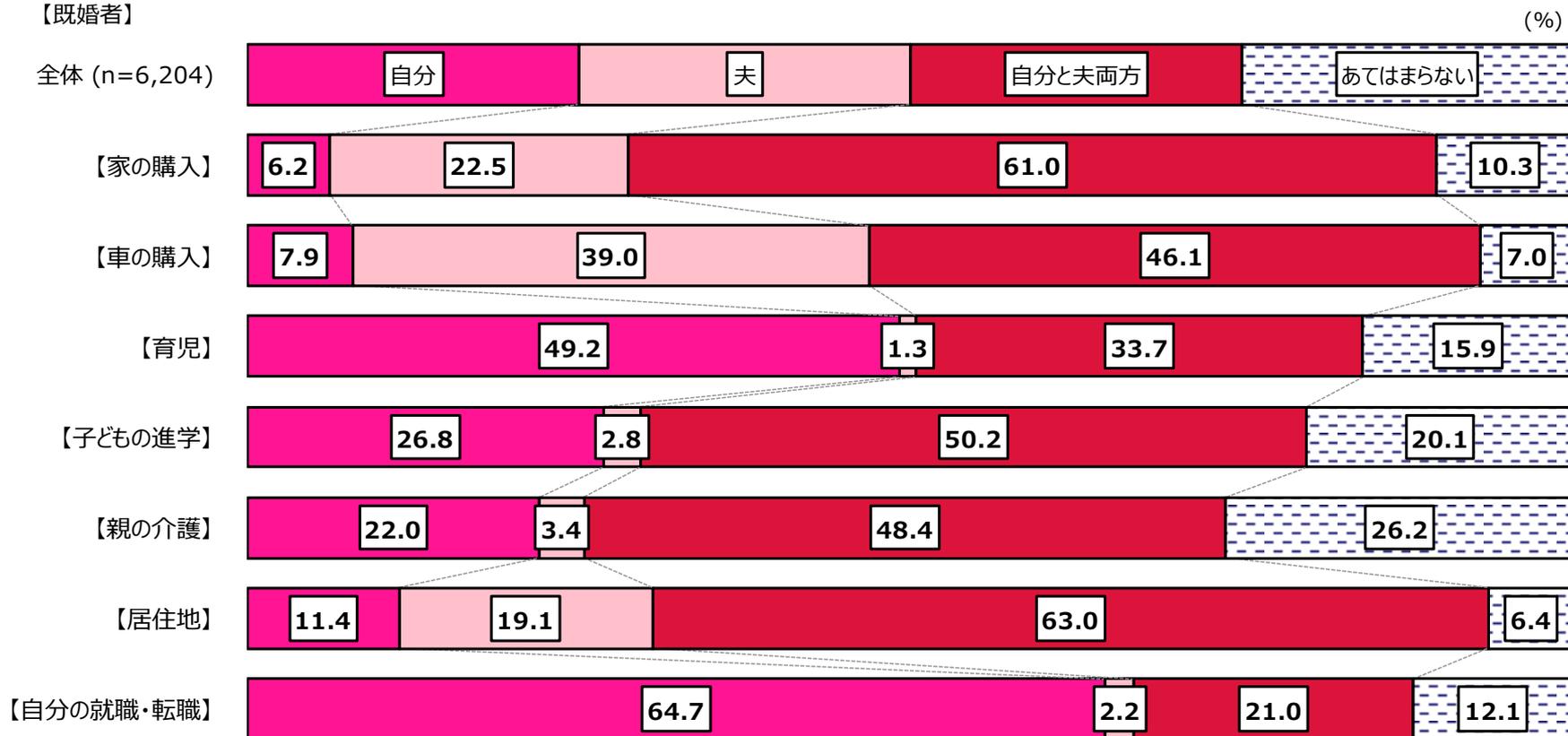
### 3-7. 家庭内の事項の決定権

【家の購入】や【居住地】については、「自分と夫両方」が6割以上を占める。【車の購入】は「自分と夫両方」が4割を超え最多だが、「夫」も4割弱と多い。  
 【育児】では「自分」が5割弱と多いが、【子どもの進学】では「自分と夫両方」が5割を占め、「自分」は20%台にとどまる。  
 【親の介護】では「自分と夫両方」が5割弱。【自分の就職・転職】では「自分」が6割を超えるが、「自分と夫両方」も2割強となっている。

Q2C. 既婚者の方にうかがいます。あなたのご家庭では、次の事項について夫婦どちらが中心となって決めますか。未経験の場合は、想像でお答えください。

また、可能性がない場合は「あてはまらない」とお答えください。（それぞれひとつずつ）

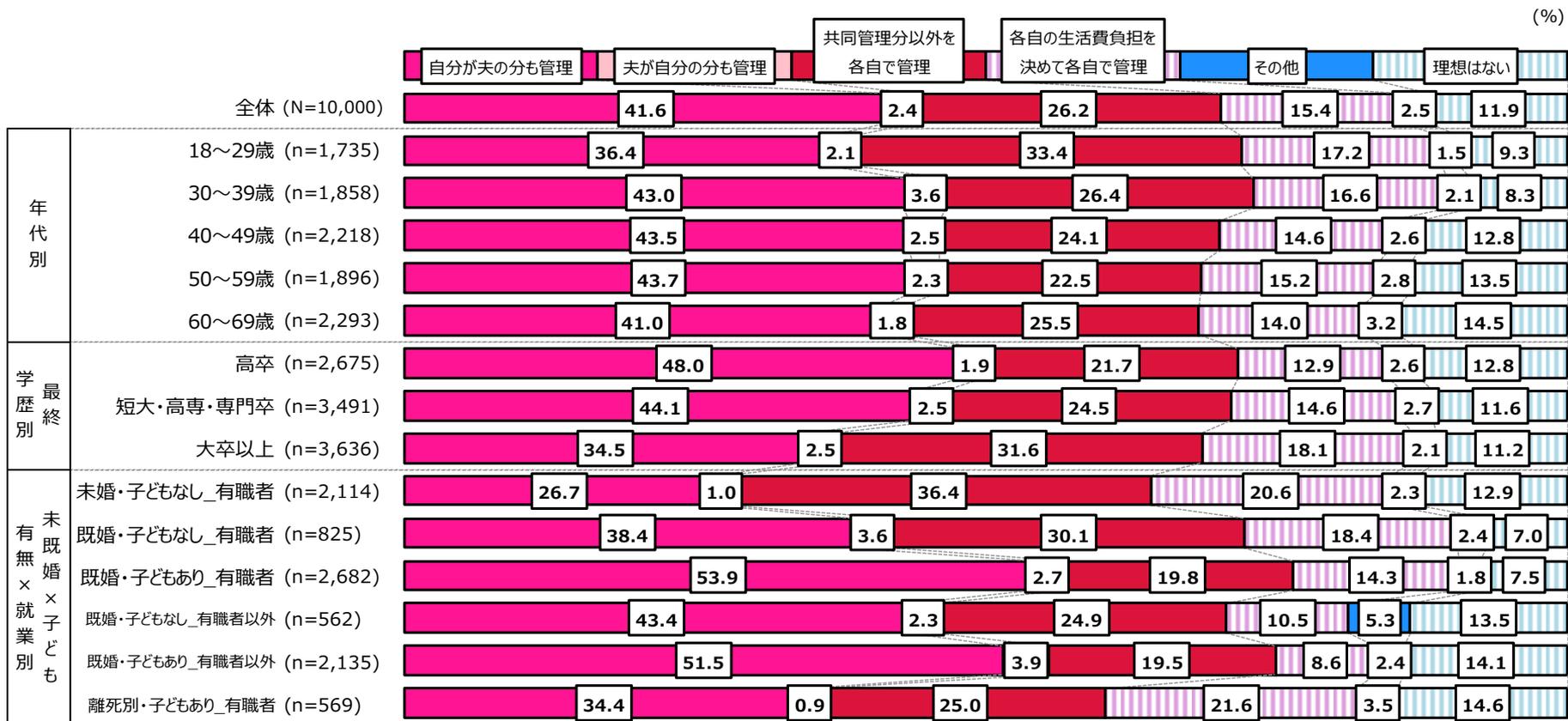
【既婚者】



# 4-1.理想の家計管理の方法

理想の家計管理の方法を年代別で見ると、18~29歳では「共同管理分以外を各自で管理」が3割を超え、30代以上より高い。最終学歴別で見ると、大卒以上層は他の層より「自分が夫の分も管理」の割合が低く、「共同管理分以外を各自で管理」の割合が高い。未婚×子ども有無×就業別で見ると、既婚・子どもあり層は職業の有無にかかわらず、「自分が夫の分も管理」が5割を超える。未婚・子どもなし\_有職者層では「共同管理分以外を各自で管理」が3割を超え最も多い。

Q3A.家計の管理はどのような形が理想ですか。(ひとつだけ)

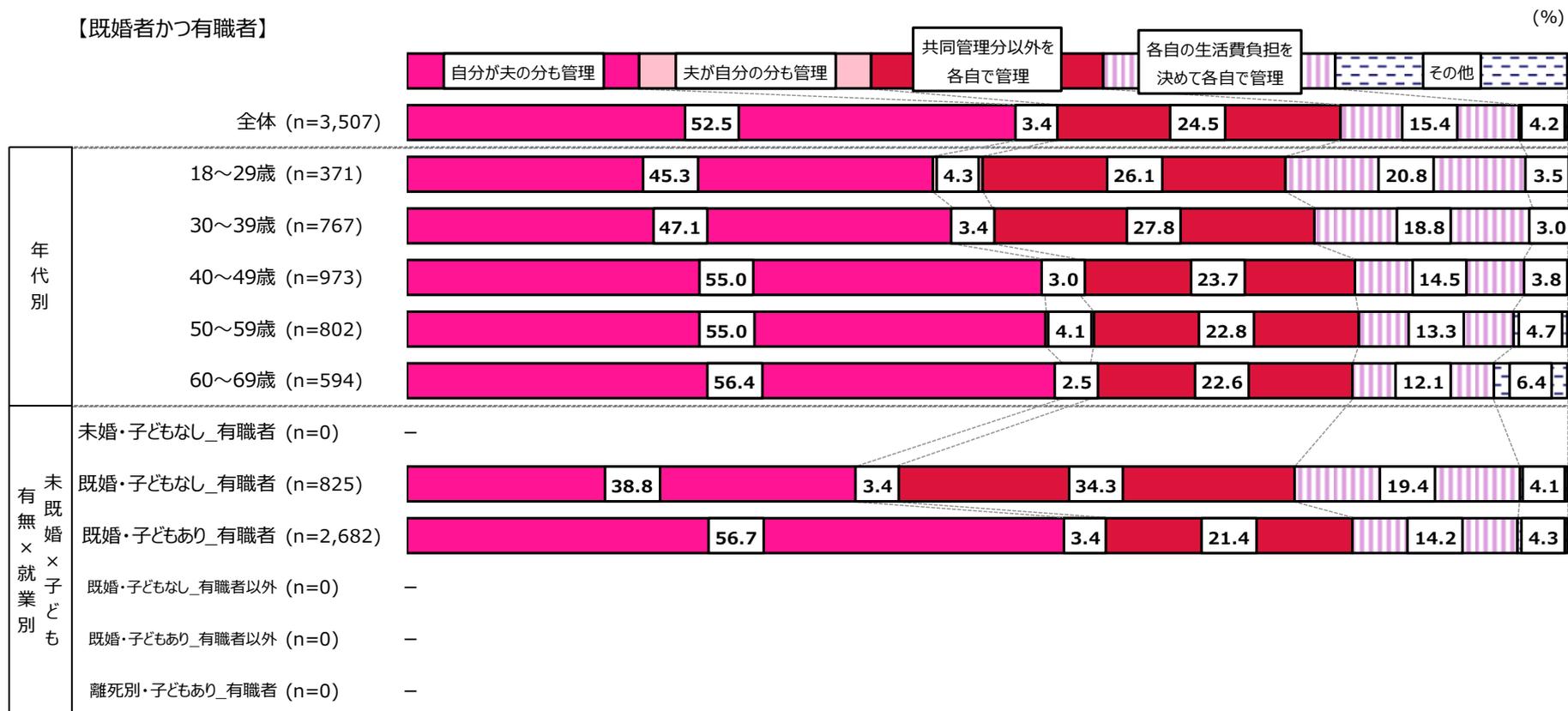


## 4-2.現実の家計管理の方法

既婚かつ有職者について現実の家計管理の方法を年代別でみると、40代以上で「自分が夫の分も管理」が5割を超える。既婚\_有職者を子ども有無別でみると、子どもあり層では「自分が夫の分も管理」が5割を超えるが、子どもなし層では「自分が夫の分も管理」と「共同管理分以外を各自で管理」がそれぞれ30%台となっている。

Q3B.既婚者かつお仕事をもちの方のうち、あなたのご家庭では、実際の家計管理はどうしていますか。(ひとつだけ)

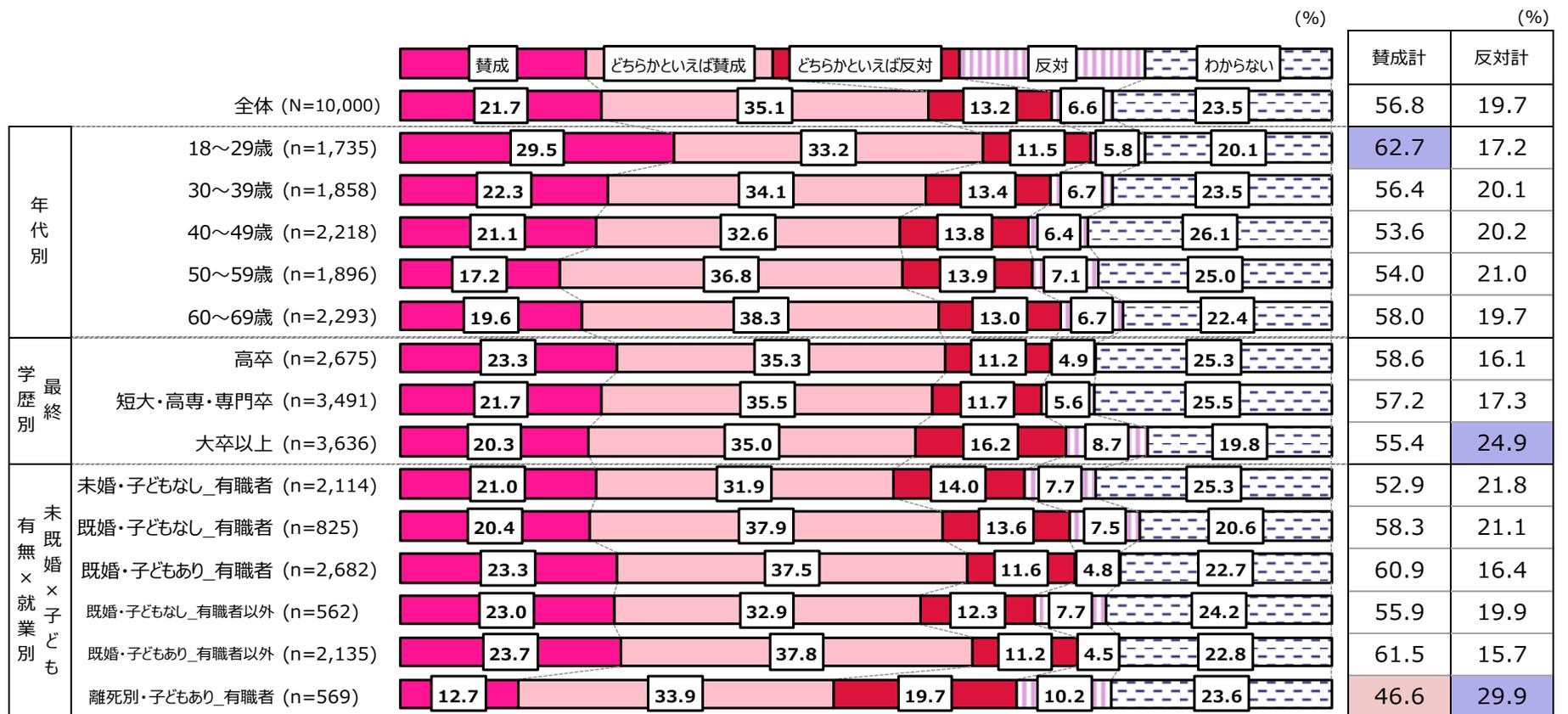
【既婚者かつ有職者】



# 5-1.夫婦同姓（夫婦同氏）への賛否

夫婦同姓への賛否を年代別で見ると、「賛成計」は18～29歳で6割強と高いが、30代以上では大きな差はみられない。最終学歴別で見ると、大卒以上層で「反対計」が2割を超える。未婚×子ども有無×就業別で見ると、離死別・子どもあり\_有職者層は他の層に比べて「賛成計」が低く、「反対計」が高い。

Q4A.民法は、夫婦が同じ氏（姓）を名乗る「夫婦同氏（夫婦同姓）」を定めています。これについてどう思いますか。（ひとつだけ）

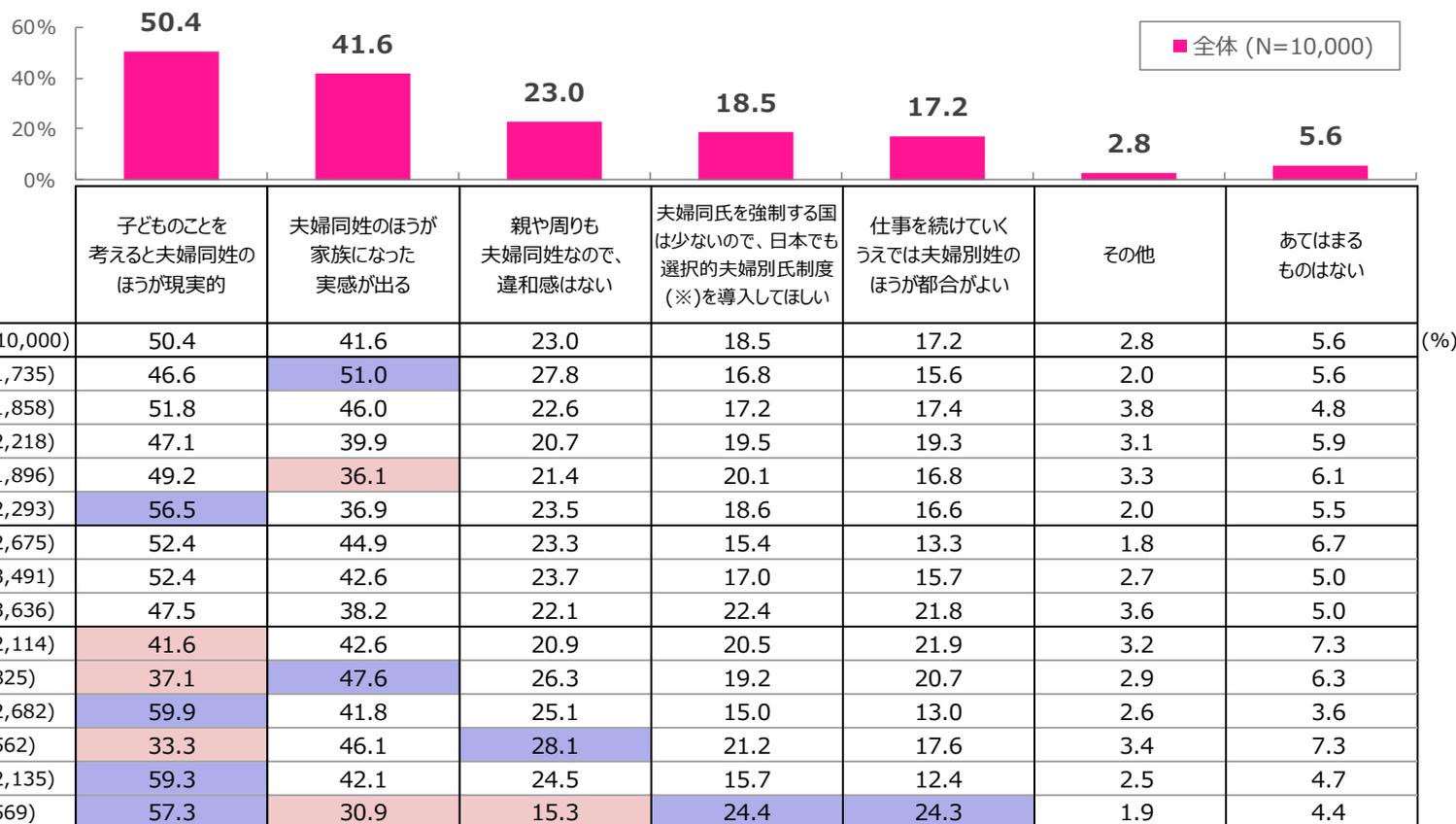


■ : 全体より+5ポイント以上    ■ : 全体より-5ポイント以下

## 5-2.夫婦同姓（夫婦同氏）に関する意見

夫婦同姓に関する意見としては、「子どものことを考えると夫婦同姓のほうが現実的」が5割で最も多く、次いで「夫婦同姓のほうが家族になった実感が出る」が4割強。年代別でみると、年代が低いほど「夫婦同姓のほうが家族になった実感が出る」の割合が高い傾向。60代では「子どものことを考えると夫婦同姓のほうが現実的」が高め。未既婚×子ども有無×就業別でみると、子どもあり層は既婚/離死別や職業の有無にかかわらず、「子どものことを考えると夫婦同姓のほうが現実的」が約6割と高い。

Q4B.「夫婦同氏（夫婦同姓）」について、ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。（2つまで）



※ 現行の夫婦同氏（夫婦同姓）に加えて、夫婦が望む場合には、結婚後も夫婦がそれぞれ結婚前の姓を称することを選擇できるようにする制度

■ : 全体より+5ポイント以上

■ : 全体より-5ポイント以下

## 5-3. 夫婦同姓（夫婦同氏）に関する意見（「その他」の自由回答）

夫婦同氏に賛成する人のその他の回答としては、夫婦同姓の方が家族だとわかりやすく、信頼を得やすいという意見が多かった。一方、夫婦同氏反対派からは強制をするべきではないという意見や姓を変更する手続きが面倒であるという意見が多かった。

Q4B.「夫婦同氏（夫婦同姓）」について、ご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。〈その他：具体的に〉

### 【賛成派】

夫婦同姓の方がわかりやすい・面倒がない

- 戸籍の信頼性に役立っているので、法的に夫婦同姓の方がいい。（10-20代、有職者、既婚）
- 他人が夫婦であるとすぐにわからないと信用に揺らぎが出る部分がある（40代、有職者、既婚）
- 夫婦になっておきながら無理に別姓にするほうが不自然（40代、有職者、既婚）
- 墓や供養ははどうするか？別姓だと困る。（60代、有職者以外、既婚）
- 選択制夫婦別姓はいいと思うが、基本的には同姓の方が夫婦・家族と分かりやすくていいと思う（50代、有職者以外、既婚）

### 【反対派】

夫婦同姓を強制するべきではない

- 今の日本の法律やしがらみを考えると同氏の方が現実的ではあるが、自身の苗字に誇りや歴史がある人が、強制的に変えなければいけない制度はいらないと思う。そこまでして合わせなくていい（10-20代、有職者、未婚）
- もともと持っている姓を結婚を理由に変更する必要はない。他の国がそうだからではなくこれから結婚をする人達がどうしたいか、また何を選ぶかなので、現状同姓になることしか選べないのはおかしいと思う。（30代、有職者、未婚）

手続きが面倒

- 姓を変えることでしなければならない手続きが多すぎるので出来れば別姓のままの方が面倒くさなくて良い。（10-20代、有職者、既婚）
- 入籍、離籍の時の手続きが非常にめんどくさいので非効率的（30代、有職者、既婚）

古い価値観である

- 仕事のことでなくとも、“女性が男性の家に入る”という古い価値観は受け入れられない（40代、有職者以外、既婚）

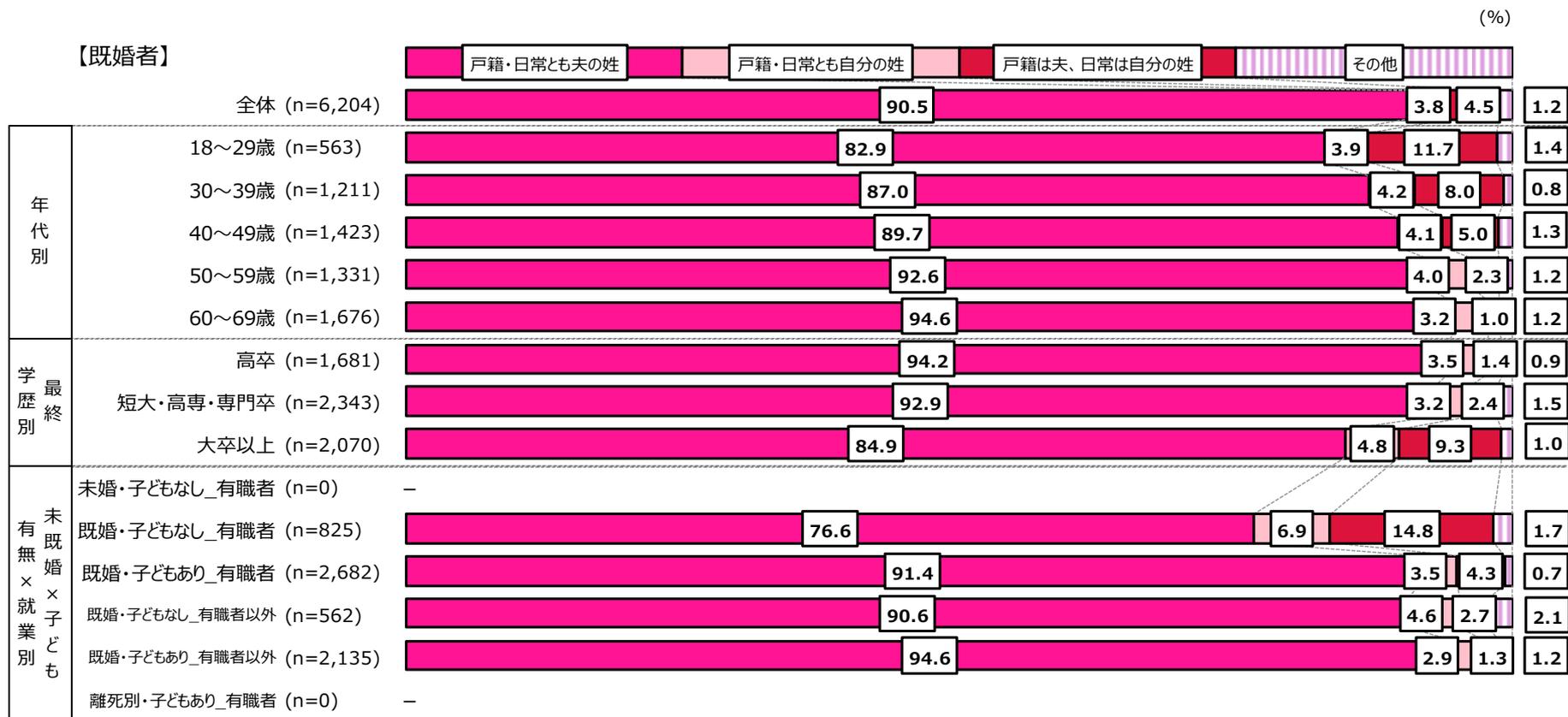
臨機応変に対応すべき

- 事実婚が増えている中 臨機応変に対応すべき（30代、有職者以外、離死別）
- 結婚に伴う姓の変更の負担が大きすぎるので、普段家族で過ごす時は通称として夫婦で同姓を使用して、戸籍名は変更しないのがいいと思う。（30代、有職者、未婚）

## 5-4.夫婦同姓（夫婦同氏）への実際の対応

既婚者について夫婦同姓への実際の対応を年代別で見ると、年代が高いほど「戸籍・日常とも夫の姓」の割合が高く、年代が低いほど「戸籍は夫、日常は自分の姓」の割合が高い。  
最終学歴別で見ると、大卒以上層で「戸籍・日常とも夫の姓」の割合が低く、「戸籍は夫、日常は自分の姓」の割合が高い。既婚者の子ども有無×就業別で見ると、子どもなし\_有職者層のみ「戸籍・日常とも夫の姓」が70%台と低い。

Q4C.既婚者の方にうかがいます。あなたは「夫婦同氏（夫婦同姓）」について、現実になどのように対応していますか。（ひとつだけ）



## 6-1.未婚率上昇・晩婚化について

【結婚するかはあくまで本人の生き方の問題だ】については、「そう思う」が97%にのぼり、年代による差はみられない。  
 【未婚率の上昇・晩婚化は平均寿命の延びに伴い必然的に起きる現象だ】については、「そう思う」が53%、「そう思わない」が47%と拮抗している。50代以上で「そう思う」の割合がやや高い。

Q5A.未婚率の上昇・晩婚化が進んでいますが、以下の考え方についてどう思いますか。（それぞれひとつずつ）



# 6-1.未婚率上昇・晩婚化について ～続き～

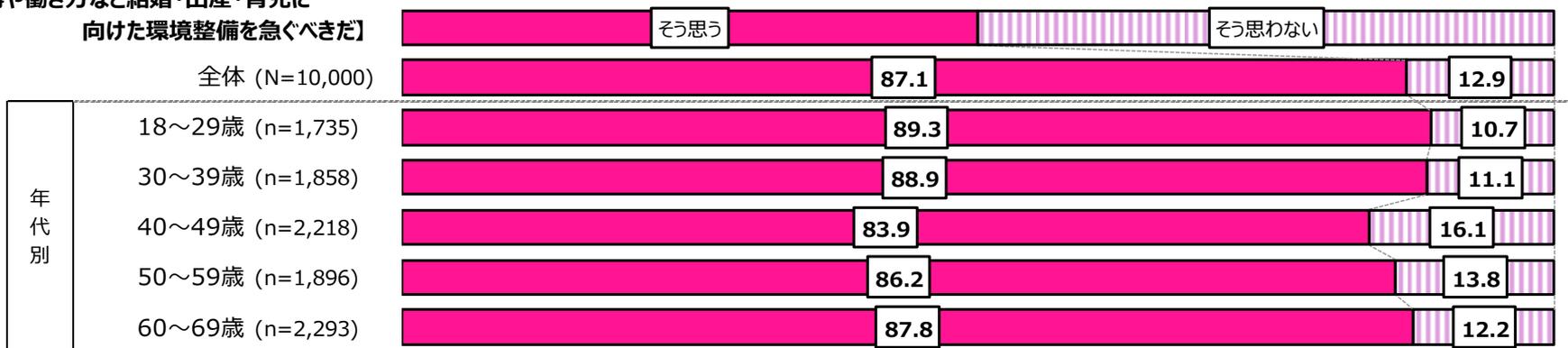
【所得や働き方など結婚・出産・育児に向けた環境整備を急ぐべきだ】については、「そう思う」が87%にのぼる。40代では「そう思う」の割合がやや低い。  
 【結婚せずに1人で自由に使える時間が維持できるのはいいことだ】については、「そう思う」が70%を占める。年代による差が顕著で、若年層ほど「そう思う」が高く、18～29歳では8割を超える。

Q5A.未婚率の上昇・晩婚化が進んでいますが、以下の考え方についてどう思いますか。(それぞれひとつずつ)

## 【所得や働き方など結婚・出産・育児に

### に向けた環境整備を急ぐべきだ】

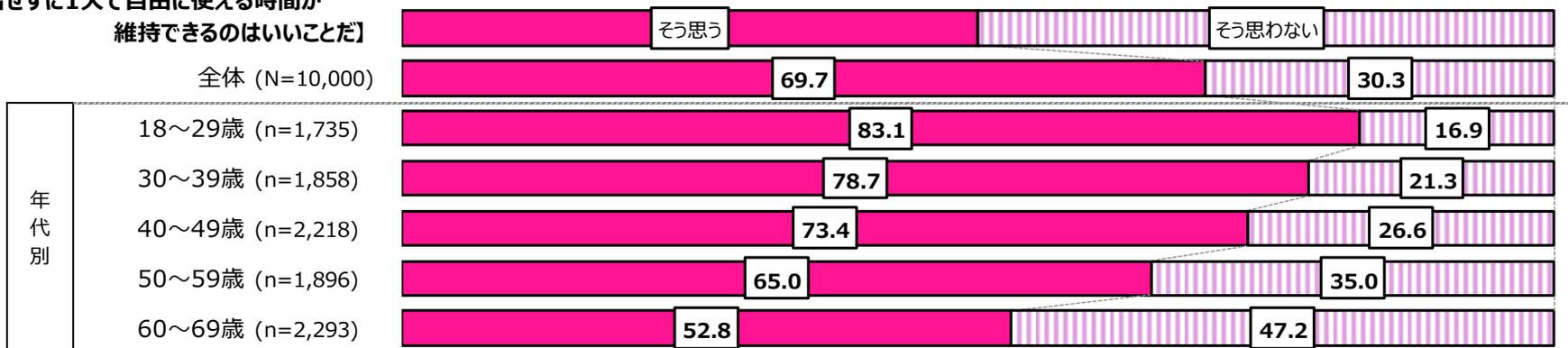
(%)



## 【結婚せずに1人で自由に使える時間が

### 維持できるのはいいことだ】

(%)



# 6-1.未婚率上昇・晩婚化について ～続き～

【未婚率の上昇・晩婚化対策には、国として抜本的な取り組みが不可欠だ】については、「そう思う」が67%を占める。30代以下で「そう思う」の割合が高めとなっている。  
 【未婚率の上昇・晩婚化は女性の高学歴化・社会進出が一因だ】については、「そう思う」が54%、「そう思わない」が46%と拮抗している。18～29歳で「そう思う」の割合がやや高い。

Q5A.未婚率の上昇・晩婚化が進んでいますが、以下の考え方についてどう思いますか。（それぞれひとつずつ）

【未婚率の上昇・晩婚化対策には、  
国としての抜本的な取り組みが不可欠だ】



【未婚率の上昇・晩婚化は  
女性の高学歴化・社会進出が一因だ】

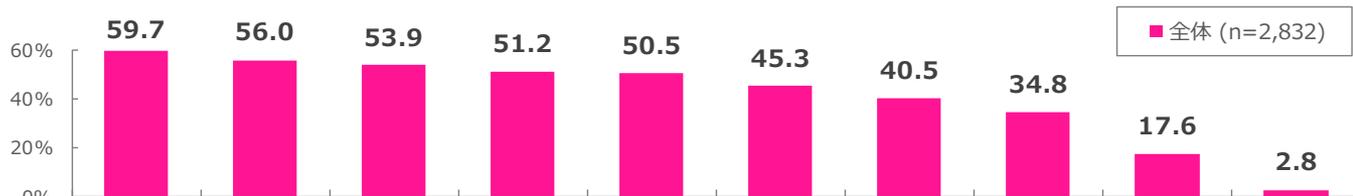


## 6-2.結婚についての考え方（未婚者のみ）

未婚層の結婚についての考え方をみると、「自由がなくなりそうだ」や「親戚・家族関係が複雑になり煩わしい」といったネガティブな意見が上位になり、次いで「経済的な安定を得られる」「希望や安心を感じる」と続く。年代別で見ると、年代が低いほど「希望や安心を感じる」の割合が高く、18～29歳では6割強で最多。逆に、「今の生活に満足しており、結婚の必要性を感じない」は年代が高いほど高く、60代では6割を超え最多。職業別で見ると、お勤め（正社員等）、学生では「希望や安心を感じる」「仕事との両立に不安を感じる」が高い。自由・自営業、無職、その他では「今の生活に満足しており、結婚の必要性を感じない」が高い。

Q5B.結婚することについて、(1) ご自身の考えに近いものをすべて選んでください。(いくつでも)

【未婚者】



		自由が なくなりそうだ	親戚・家族 関係が複雑に なり煩わしい	経済的な 安定を 得られる	希望や安心を 感じる	妻・母としての 役割を 重く感じる	仕事との 両立に 不安を感じる	今の生活に 満足しており、 結婚の必要性 を感じない	社会的な 信用を 得られる	一人前 になれると 感じる	その他	(%)
全体 (n=2,832)		59.7	56.0	53.9	51.2	50.5	45.3	40.5	34.8	17.6	2.8	
年代別	18～29歳 (n=1,157)	56.4	47.3	57.5	62.3	58.5	53.2	27.0	31.7	18.2	1.7	
	30～39歳 (n=567)	64.9	61.6	56.1	52.0	53.1	43.9	40.7	40.4	20.3	2.6	
	40～49歳 (n=580)	62.8	64.1	54.8	45.0	42.1	39.5	48.8	39.5	18.4	4.5	
	50～59歳 (n=299)	59.9	62.2	45.2	33.1	39.1	35.1	57.5	31.4	13.0	3.0	
	60～69歳 (n=229)	55.9	57.2	39.3	32.8	40.2	36.7	65.1	28.8	12.2	3.9	
未婚×職業別	未婚_お勤め(正社員等) (n=1,483)	59.1	56.0	55.6	56.9	50.7	50.4	37.9	36.5	19.2	2.2	
	未婚_お勤め(派遣社員等) (n=588)	60.5	59.2	54.8	44.9	50.7	39.3	43.2	36.2	16.8	3.2	
	未婚_個人経営主 (n=21*)	57.1	47.6	47.6	33.3	42.9	57.1	57.1	33.3	9.5	0.0	
	未婚_自由・自営業 (n=130)	63.8	58.5	46.2	45.4	50.0	38.5	53.1	36.2	14.6	3.8	
	未婚_主婦 (n=25*)	60.0	48.0	52.0	48.0	48.0	28.0	28.0	16.0	16.0	8.0	
	未婚_学生 (n=241)	52.7	44.0	58.1	62.2	57.3	51.0	27.8	28.6	15.8	2.1	
	未婚_無職 (n=306)	65.7	59.8	46.1	34.0	47.4	33.7	50.0	31.7	15.0	3.6	
未婚_その他 (n=38)	57.9	52.6	39.5	28.9	31.6	23.7	60.5	15.8	18.4	13.2		

\*n=30未満は参考値

■ : 全体より+5ポイント以上

■ : 全体より-5ポイント以下

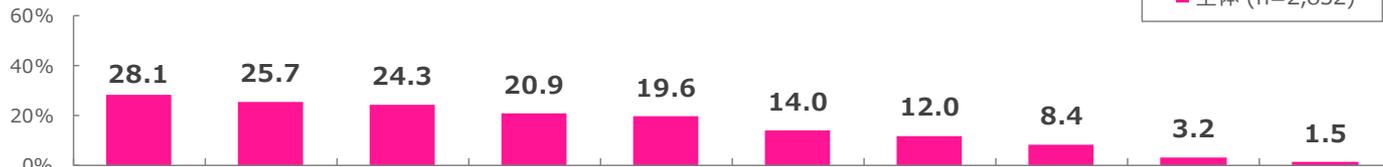
## 6-3.結婚についての考え方（特に自分の考えに近いもの）（未婚者のみ）

特に自分の考えに近いものをみると、「希望や安心を感じる」「今の生活に満足しており、結婚の必要性を感じない」「自由がなくなりそうだ」の順が多い。

年代別で見ると、年代が低いほど「希望や安心を感じる」の割合が高く、年代が高いほど「今の生活に満足しており、結婚の必要性を感じない」が高い。職業別で見ると、学生では「希望や安心を感じる」が4割を超える。自由・自営業、無職、その他では「今の生活に満足しており、結婚の必要性を感じない」が4割前後と高い。

Q5B.結婚することについて、(2)「(1)ご自身の考えに近いものすべて」で選択したもののうち、特にご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。(2つまで)

【未婚者】



		希望や安心を感じる	今の生活に満足しており、結婚の必要性を感じない	自由がなくなりそうだ	経済的な安定を得られる	親戚・家族関係が複雑になり煩わしい	妻・母としての役割を重く感じる	仕事との両立に不安を感じる	社会的な信用を得られる	一人前になれると感じる	その他	(%)
全体 (n=2,832)		28.1	25.7	24.3	20.9	19.6	14.0	12.0	8.4	3.2	1.5	
年代別	18～29歳 (n=1,157)	37.6	13.5	21.8	21.7	14.3	19.5	16.1	8.2	3.5	0.6	
	30～39歳 (n=567)	29.1	24.5	26.5	24.9	19.0	14.1	10.8	9.3	4.1	1.8	
	40～49歳 (n=580)	20.3	32.6	27.2	20.7	24.8	7.8	10.5	9.7	2.2	2.8	
	50～59歳 (n=299)	15.4	43.5	23.7	17.1	29.8	8.0	7.7	6.7	3.3	2.0	
	60～69歳 (n=229)	13.5	50.2	25.3	13.1	21.8	9.2	3.9	5.7	1.3	1.3	
未婚×職業別	未婚_お勤め(正社員等) (n=1,483)	31.0	23.3	22.9	21.8	17.3	14.3	15.4	8.9	3.6	0.9	
	未婚_お勤め(派遣社員等) (n=588)	24.1	26.4	25.5	22.6	25.5	12.4	7.5	9.0	3.4	1.5	
	未婚_個人経営主 (n=21*)	14.3	42.9	23.8	4.8	14.3	14.3	14.3	19.0	4.8	0.0	
	未婚_自由・自営業 (n=130)	26.2	38.5	25.4	18.5	20.0	8.5	4.6	5.4	3.8	2.3	
	未婚_主婦 (n=25*)	12.0	16.0	28.0	36.0	20.0	24.0	8.0	4.0	0.0	4.0	
	未婚_学生 (n=241)	42.7	13.7	19.1	18.7	11.2	21.6	16.2	6.2	1.7	1.7	
	未婚_無職 (n=306)	14.1	38.2	33.3	17.0	25.8	11.1	4.9	7.8	2.0	2.9	
	未婚_その他 (n=38)	18.4	42.1	18.4	13.2	26.3	13.2	7.9	2.6	0.0	5.3	

\*n=30未満は参考値

■ : 全体より+5ポイント以上    ■ : 全体より-5ポイント以下

## 6-4. 結婚についての考え方（「その他」の自由回答）

結婚についての考え方では、老後の不安などから結婚をしていた方が安心感を得られるという意見や、好きな人と一緒にいることに幸せを感じるというポジティブな意見がある一方、制度としての結婚にはこだわらないという意見や、人間関係や人との同居が煩わしいという意見も出た。

Q5B.結婚することについて、(1)ご自身の考えに近いものをすべて選んでください。(2)(1)で選択したもののうち、特にご自身の考えに近いものを2つまで選んでください。<その他：具体的に>

### ■未婚者

#### 安心感を得られる

- 老後に一人でないのは少し安心（50代、有職者以外）
- 精神的な安定（10-20代、有職者）
- 協力して生活できる相手がいるのは心強い（50代、有職者）

#### 結婚という制度にはこだわらない

- いちいち戸籍で縛る必要はない。事実婚でも柔軟に法律の適用をしていくべき。（40代、有職者）
- 結婚という形には意味がないと思う。愛情に基づき尊敬しあえるパートナーとの縁であれば、希望や安心を得られる（50代、有職者）
- 婚外子が一般的に認められるのであれば未婚でも良いと思う（10-20代、有職者以外）
- 結婚という形ではなく、パートナーを得たい（30代、有職者以外）

#### 幸せを感じる

- 愛する人と共に人生を歩んでいける幸せを感じるだろう。（40代、有職者以外）
- 好きな人と一緒にいられること以上の幸せはない（30代、有職者）

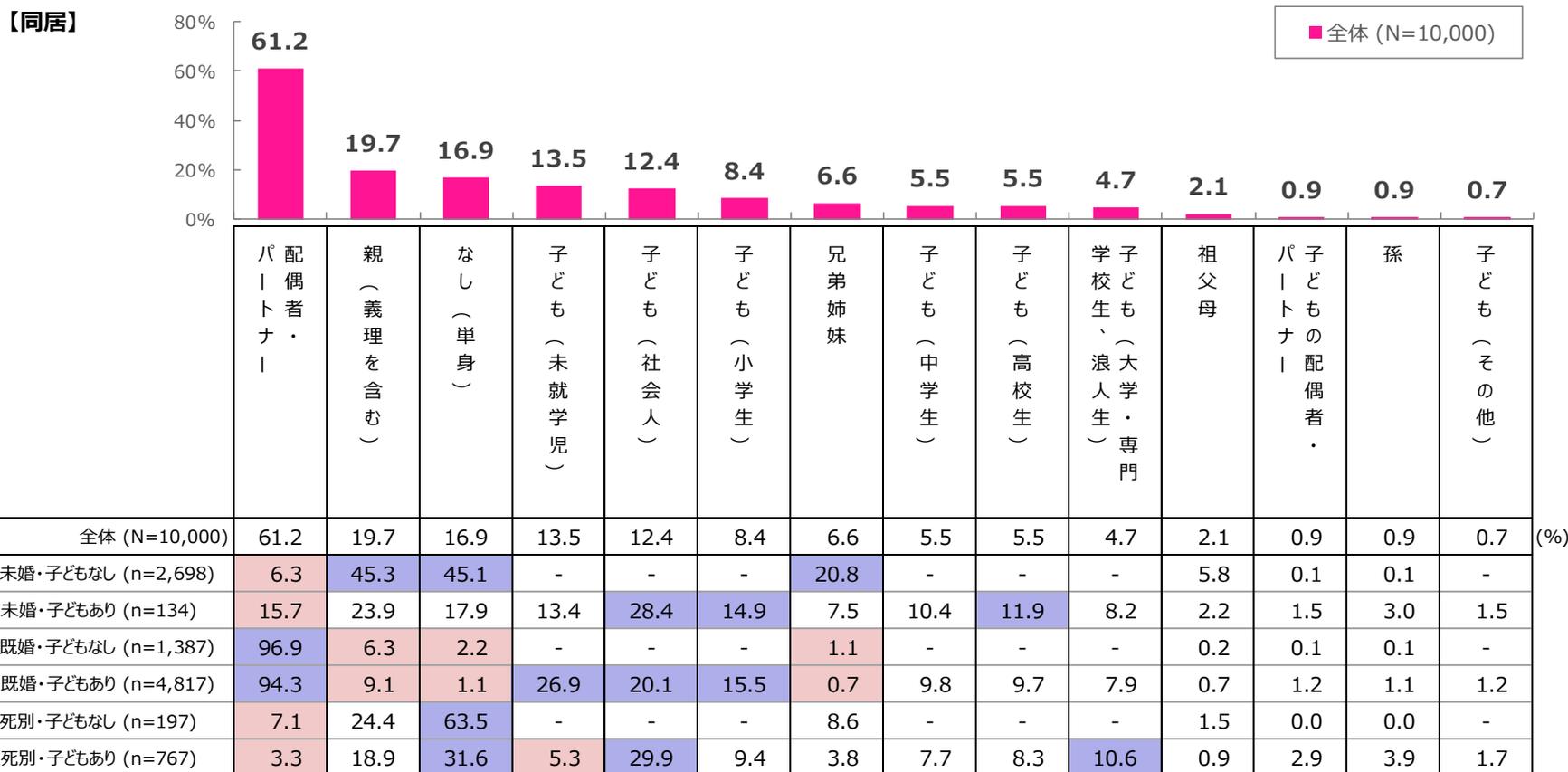
#### 煩わしい

- 嫁姑問題、子供など煩わしいものが増える（10-20代、有職者）
- 一人暮らしが長すぎて今更共同生活は疲れそう（40代、有職者）
- 束縛されるのが苦手だ（40代、有職者）

# 7-1.【参考】回答者家族構成（同居）

同居家族は「配偶者・パートナー」が6割強で最も多く、次いで「親(義理を含む)」が2割。「なし(単身)」は17%。  
 未既婚×子ども有無別でみると、未婚・子どもなし層では「親(義理を含む)」「なし(単身)」がそれぞれ40%台。子どもありの未婚層と離死別層では「子ども(社会人)」が3割弱。既婚・子どもあり層では「子ども(未就学児)」と「子ども(社会人)」がそれぞれ2割以上。

F2.あなたのご家族構成をお答えください。（それぞれいくつでも）



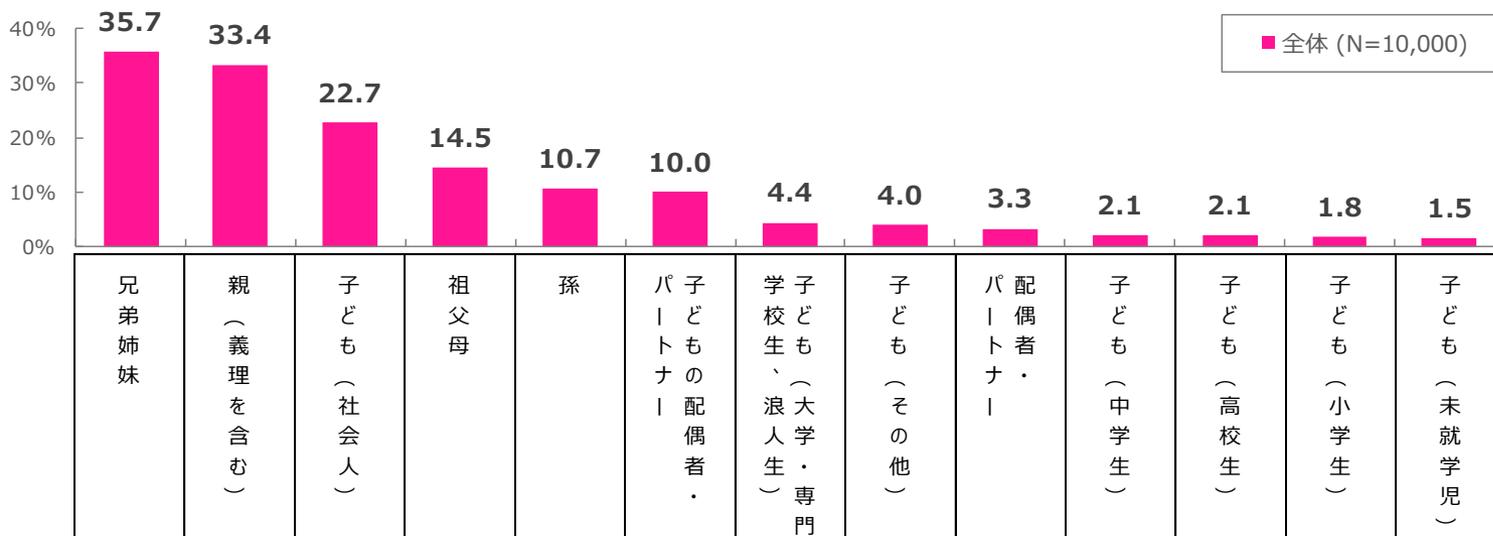
■ : 全体より+5ポイント以上   ■ : 全体より-5ポイント以下

## 7-2.【参考】回答者家族構成（非同居）

非同居家族は「兄弟姉妹」「親」が35%前後と多い。次いで「子ども(社会人)」が23%。  
未既婚×子ども有無別でみると、既婚・子どもなし層では「親(義理を含む)」「兄弟姉妹」が5割前後。離死別・子どもあり層では「子ども(社会人)」が5割。

F2.あなたのご家族構成をお答えください。（それぞれいくつでも）

【非同居】



		全体 (N=10,000)	35.7	33.4	22.7	14.5	10.7	10.0	4.4	4.0	3.3	2.1	2.1	1.8	1.5	(%)
子ども未既婚×有無別	全体 (N=10,000)	35.7	33.4	22.7	14.5	10.7	10.0	4.4	4.0	3.3	2.1	2.1	1.8	1.5		
	未婚・子どもなし (n=2,698)	34.3	21.6	-	13.4	0.6	0.1	-	-	2.4	-	-	-	-	-	
	未婚・子どもあり (n=134)	21.6	20.9	35.8	7.5	7.5	7.5	8.2	5.2	4.5	2.2	3.0	2.2	3.0		
	既婚・子どもなし (n=1,387)	47.5	54.5	-	20.5	2.1	0.4	-	-	1.9	-	-	-	-	-	
	既婚・子どもあり (n=4,817)	34.5	36.4	38.1	15.0	17.4	17.3	7.4	6.8	3.4	3.4	3.3	2.8	2.1		
	離死別・子どもなし (n=197)	38.6	24.4	-	3.6	1.0	1.0	-	-	4.1	-	-	-	-	-	
離死別・子どもあり (n=767)	28.7	22.6	50.3	8.7	22.8	18.5	9.1	8.5	8.1	5.2	5.3	5.3	5.1			

■ : 全体より+5ポイント以上    ■ : 全体より-5ポイント以下